



アルインコ株式会社
決算説明資料

2021年2月

ALINCO Now

証券コード : 5933
<https://www.alinco.co.jp/>

- ✓ 2020年度の建設投資は前年度比2～3%減少見込み
- ✓ 建設業大手50社の受注動態は、前年同月比減少が続くが、大幅ではなく底堅い動き
- ✓ 建築着工は用途別で倉庫が、建築主では公共が前年比大幅増
- ✓ 倉庫は、巣ごもり消費でインターネット購買が新常态となるなか、新設需要が拡大
- ✓ 将来予定されているビッグプロジェクトの中止や修正なく、建設需要の蒸発はない見通し
- ✓ 仮設機材レンタルの稼働は当第2四半期が底で、以降、稼働率は上昇傾向を示している
- ✓ 仮設機材レンタルの稼働率上昇とともに、レンタル業者からの購入引き合いが回復傾向
- ✓ 仮設機材に対する需要動向は、2020年度後半から翌年度にかけて緩やかに回復

住宅機器関連

- ✓感染拡大初期の厳しい外出制限によって、DIYニーズが拡大しホームセンターへの人の流れが復活。足下でもその傾向は持続
- ✓展示会等の大規模イベントの開催中止の影響を受けていた金物・機工ルートでの販売は、企業の生産活動再開に応じて回復傾向に転じている
- ✓アルミ製はしごや脚立などは2つのルートの補完効果でコロナ禍の影響を吸収
- ✓3密回避による運動機会の変化により、ホームフィットネス機器の需要が世界的に増加
- ✓フィットネス機器の販売は、前年同月を上回る状況が継続

電子機器関連

- ✓防災無線関係は公共性、緊急性が高く、前年同期比大幅増
- ✓ここ数年取り組みを強化してきたモジュール製品も新たな販路を開拓し、企業活動の再開に応じて成果が期待できる
- ✓感染拡大初期の幅広い業種にわたる営業規制の影響で、企業の購買意欲が減退した特定小電力無線機や業務用無線機は回復傾向

■ 会社概要	4
■ 中長期的に目指す方向性	16
■ コア事業の概要【建設機材関連、レンタル関連】	21
■ 物流関連部門の状況	35
■ 住宅機器関連事業の取り組み	39
■ 電子機器関連事業の取り組み	47
■ 2021年3月期第3四半期の業績及び通期業績予想	50
■ 株主還元	62

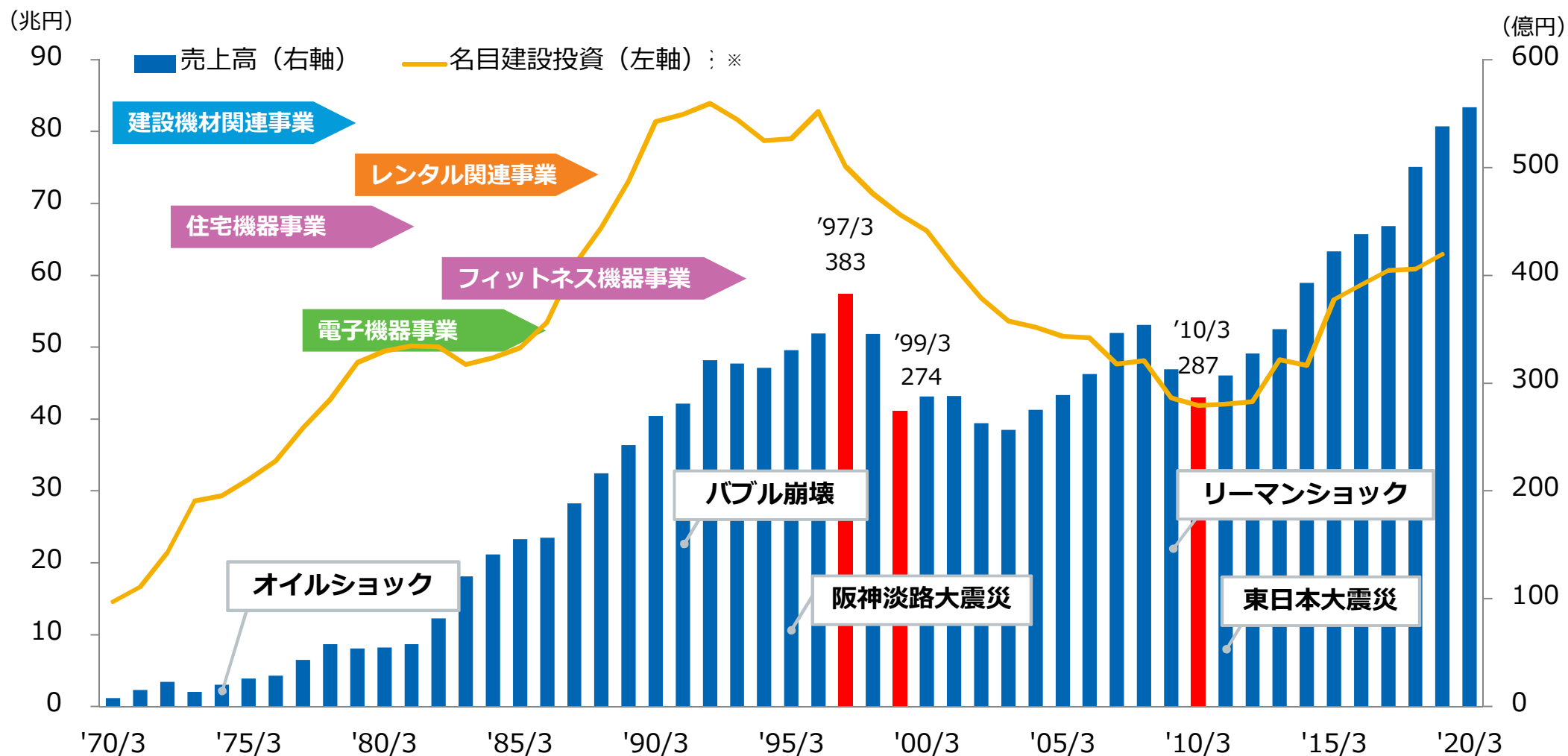
会社概要

社 名	アルインコ株式会社
上 場 市 場	東証1部（2014年12月1日指定）
創 業	1938年
設 立 年 月 日	1970年7月4日
従 業 員 数	連結 1,400名、単体 782名（2020年9月20日現在）
資 本 金	63億61百万円
発 行 済 み 株 式 数	21,039,326株
連 結 総 資 産	552億13百万円（2020年9月20日現在）
子 会 社	17社（国内8社、中国4社、タイ3社、ベトナム1社、インドネシア1社）
会 計 期 間	3月21日～3月20日
会 計 基 準	日本基準

1938年 (昭和13年)	大阪において「井上鉄工所」を創業、自転車部品などの製造を行う
1970年 (昭和45年)	「井上鉄工株式会社」設立
1983年 (昭和58年)	社名を「アルインコ株式会社」に変更
1993年 (平成 5年)	大阪証券取引所市場第二部に上場
2003年 (平成15年)	中華人民共和国に現地法人を設立し、アルミ製品の生産を開始
2006年 (平成18年)	東京証券取引所市場第二部に上場
2012年 (平成24年)	タイ王国に現地法人を設立し、仮設機材の生産・レンタル事業を開始
2014年 (平成26年)	インドネシア共和国に現地法人を設立 東京証券取引所市場一部銘柄に指定
2015年 (平成27年)	東京本社を設置し、大阪本社との2本社制とする 兵庫第2工場を拡張し生産能力を増強
2017年 (平成29年)	物流関連製品メーカーの双福鋼器(株)を子会社化 (51%の株式を取得)
2018年 (平成30年)	アルミブリッジメーカーの昭和ブリッジ販売(株)を子会社化
2020年 (令和 2年)	双福鋼器(株)を完全子会社化

時代に先駆けて新たな市場を開拓し成長

設立からの売上高推移



※出典：国土交通省「令和元年度 建設投資見通し」

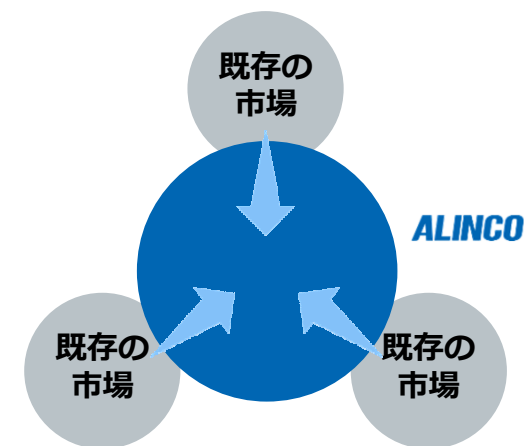
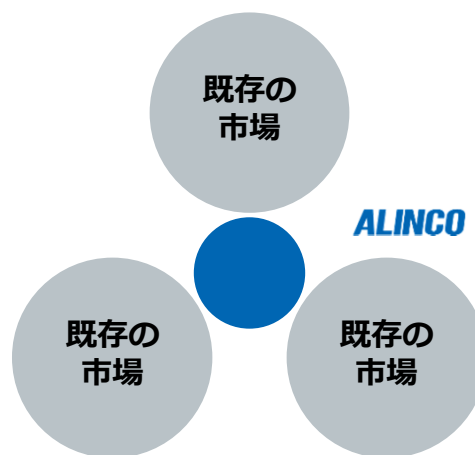
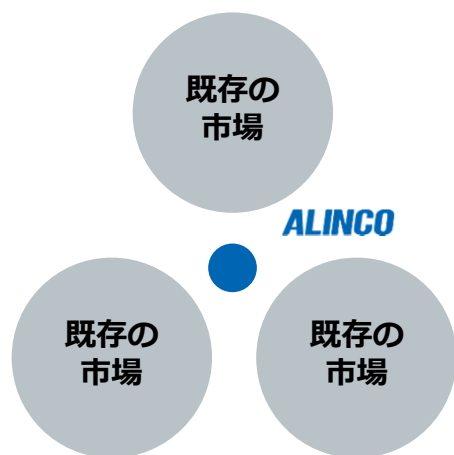
『ニッチマーケットでトップ企業に』

新たな市場を開拓し、各セグメントがそれぞれの事業ドメインにおいて
トップグループの地位を確立

新たな市場を開拓

開拓した市場を育成

周辺市場の需要を取り込み
ニッチ市場における地位を確立



電子機器関連

声と心を届ける、大切なインフラ



特定小電力無線 簡易業務無線 消防・救急無線



防災・行政無線 データ通信用無線装置

住宅機器関連

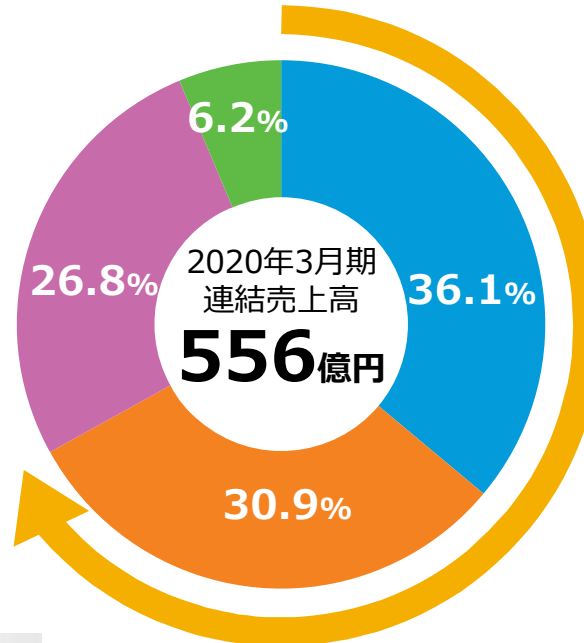
家庭に安全・快適・便利を提供



住宅機器

フィットネス機器

コア事業※で
67%



※コア事業は建設機材関連事業とレンタル関連事業を指す

建設機材関連

確かな技術力で建設現場に“安全・安心”をお届け



進化する足場「アルバトロス」



アルミ朝顔（落下養生機材）

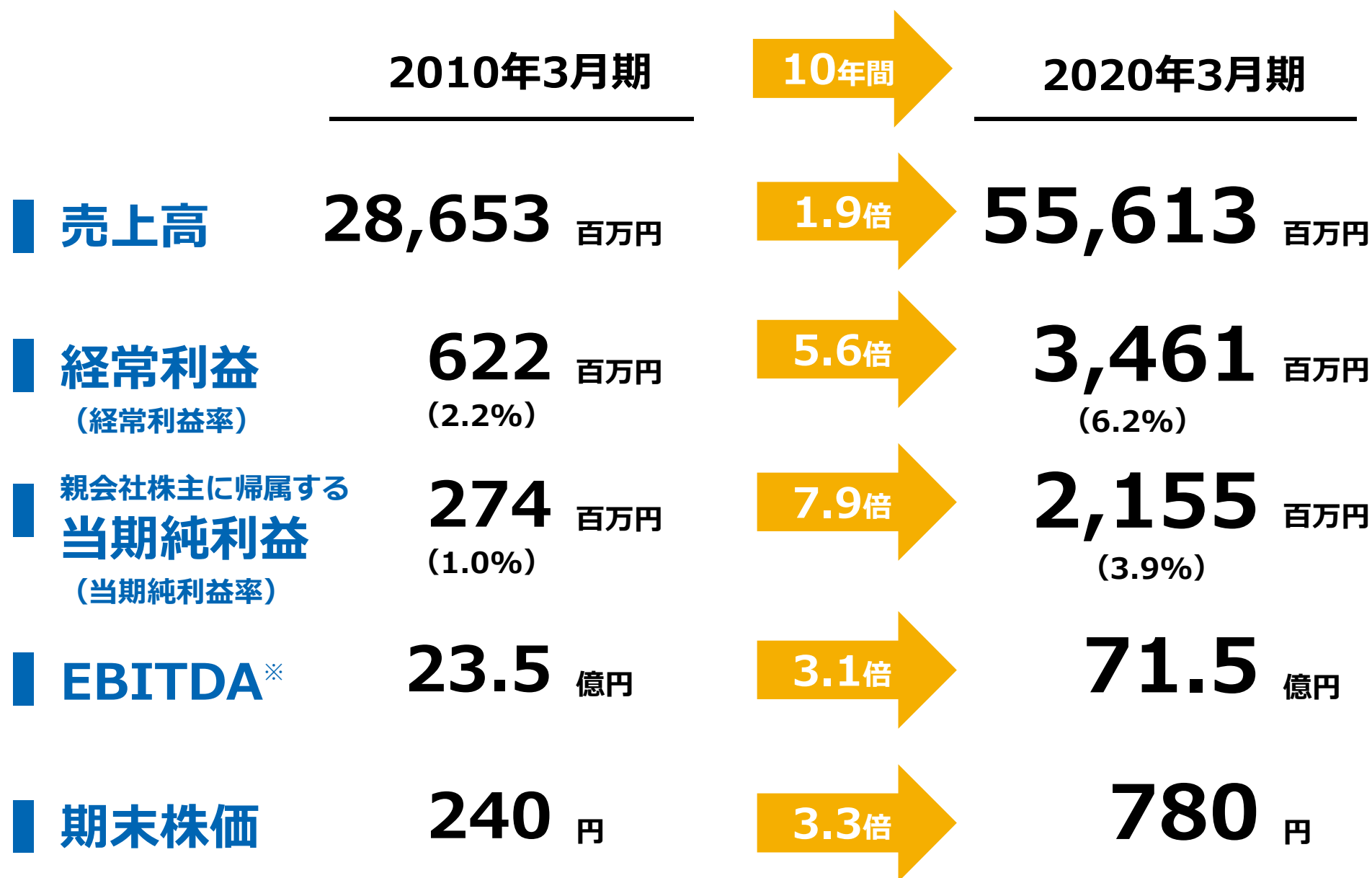
セーフティSKパネル



レンタル関連

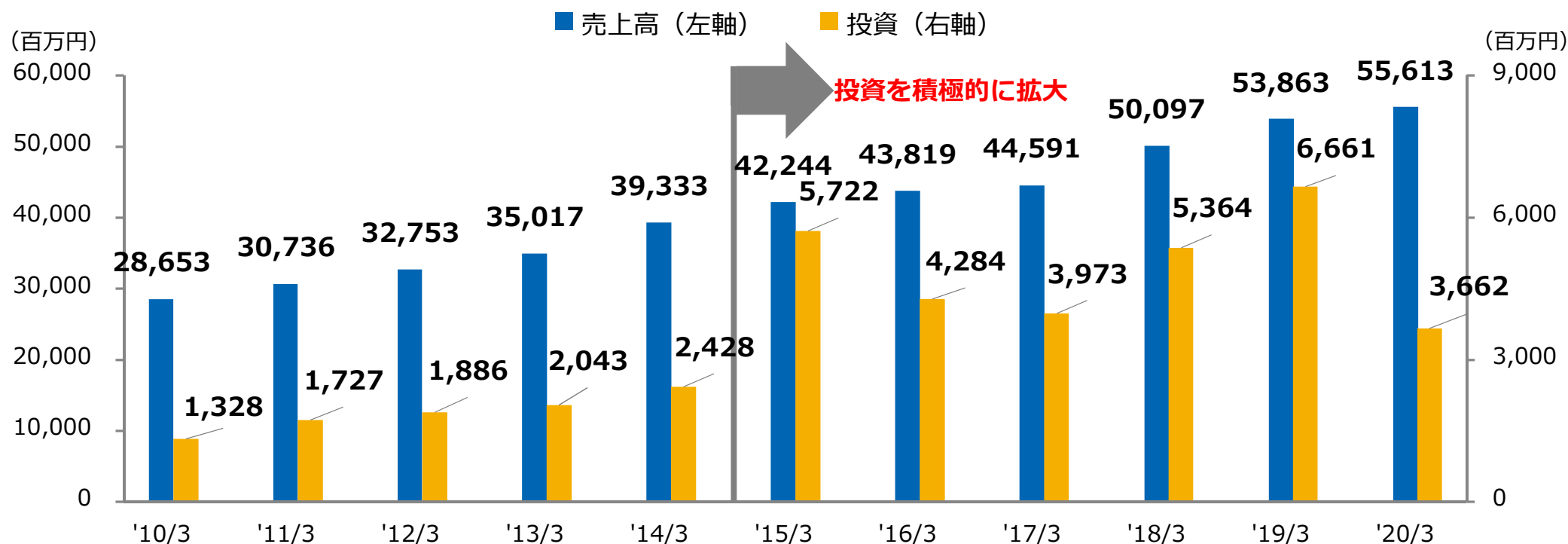
建設機材関連事業と連携

10年で大きく変わったアルインコ



※経常利益+減価償却費+のれん償却額

成長に向けた積極的な投資により業績拡大を実現



主な投資の内容

1. レンタル資産への投資

- 安全性と効率化の両立を実現する機材への投資
- 既存の枠組み足場を新型足場に置き換え
(足場市場の変革を促す新型足場のシェア拡大)

2. 海外市場への展開強化

- 中国、タイ、インドネシアにおいて足場レンタル事業をスタート
- 海外日系ゼネコン関連からの受注から取り組み開始
- ローカルには日本式品質サービスを提供することで現地競合と差別化

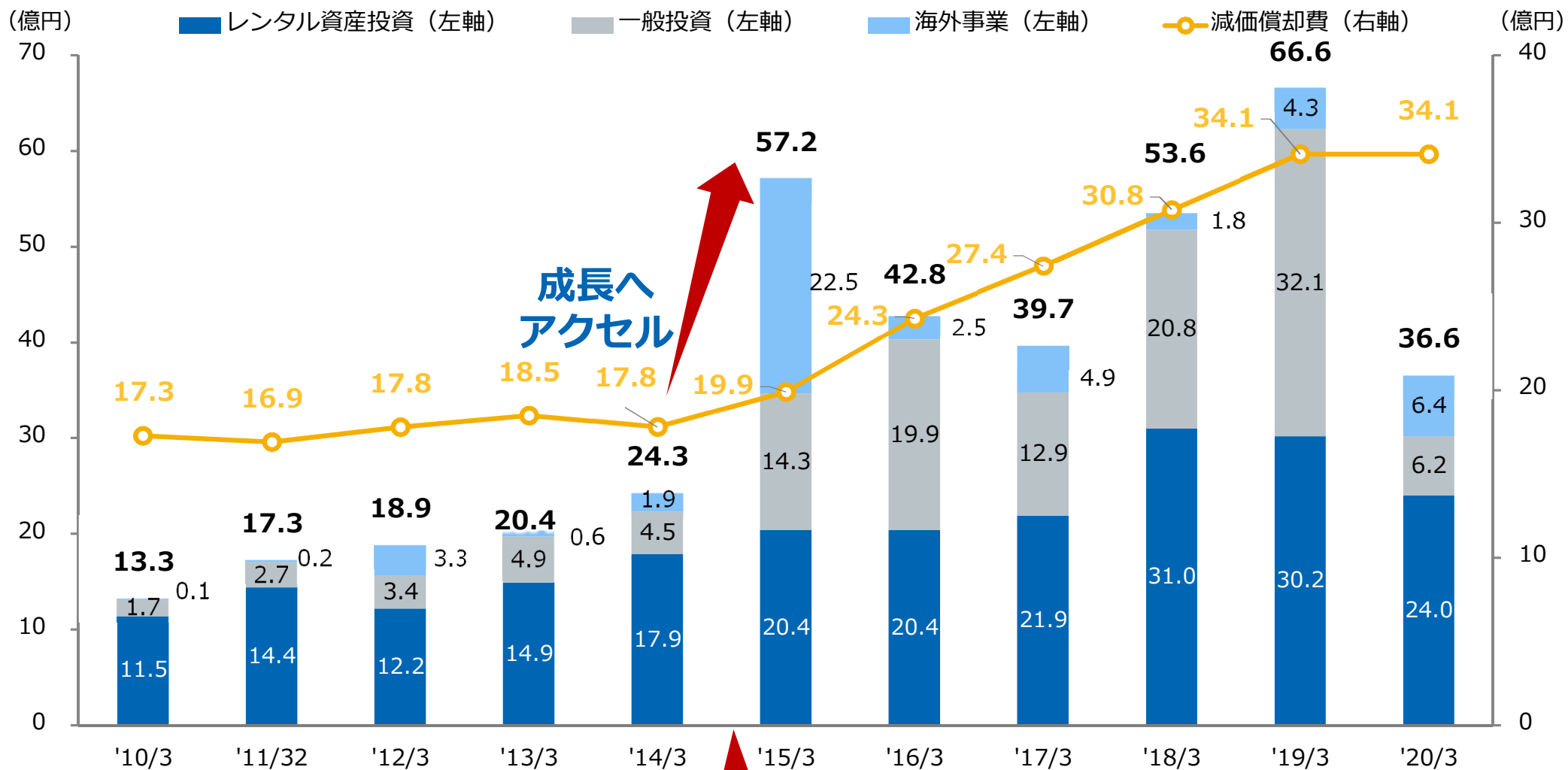
3. M&Aへの積極投資

- 双福鋼器：物流自動倉庫用ラック
- 昭和ブリッジ販売：アルミブリッジ
- エス・ティ・エス：測量用レーザー機器
- シップ：据置式昇降作業台

4. 生産能力の増強

- 蘇州工場を増築
- アルインコタイランド工場建設
- 足場板製造ラインの更新と効率化
- 新型足場製造設備の導入

投資等の推移

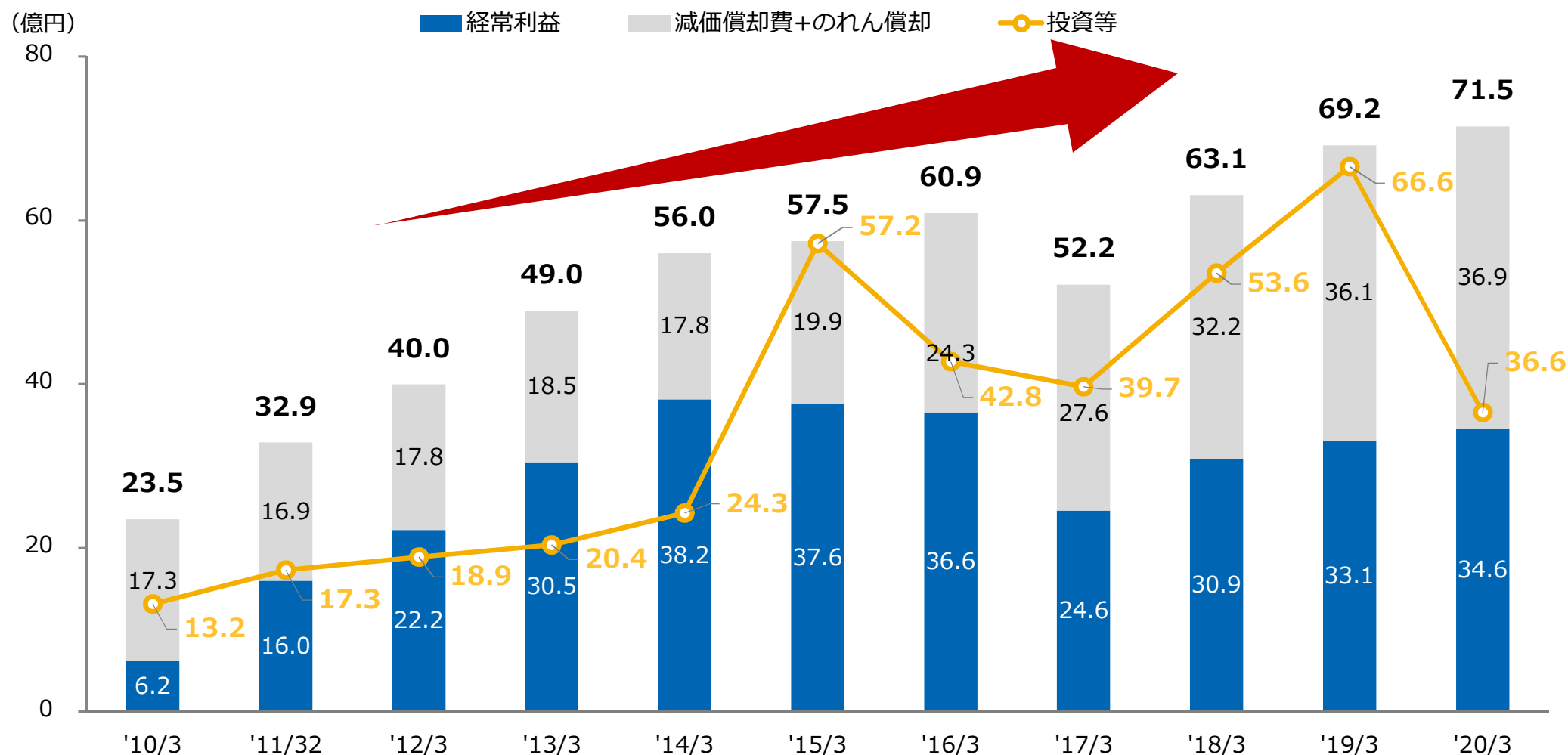


成長へ
アクセル

東証一部指定
(2014年12月)

積極的な投資により償却負担は増加するもEBITDAは着実に増加

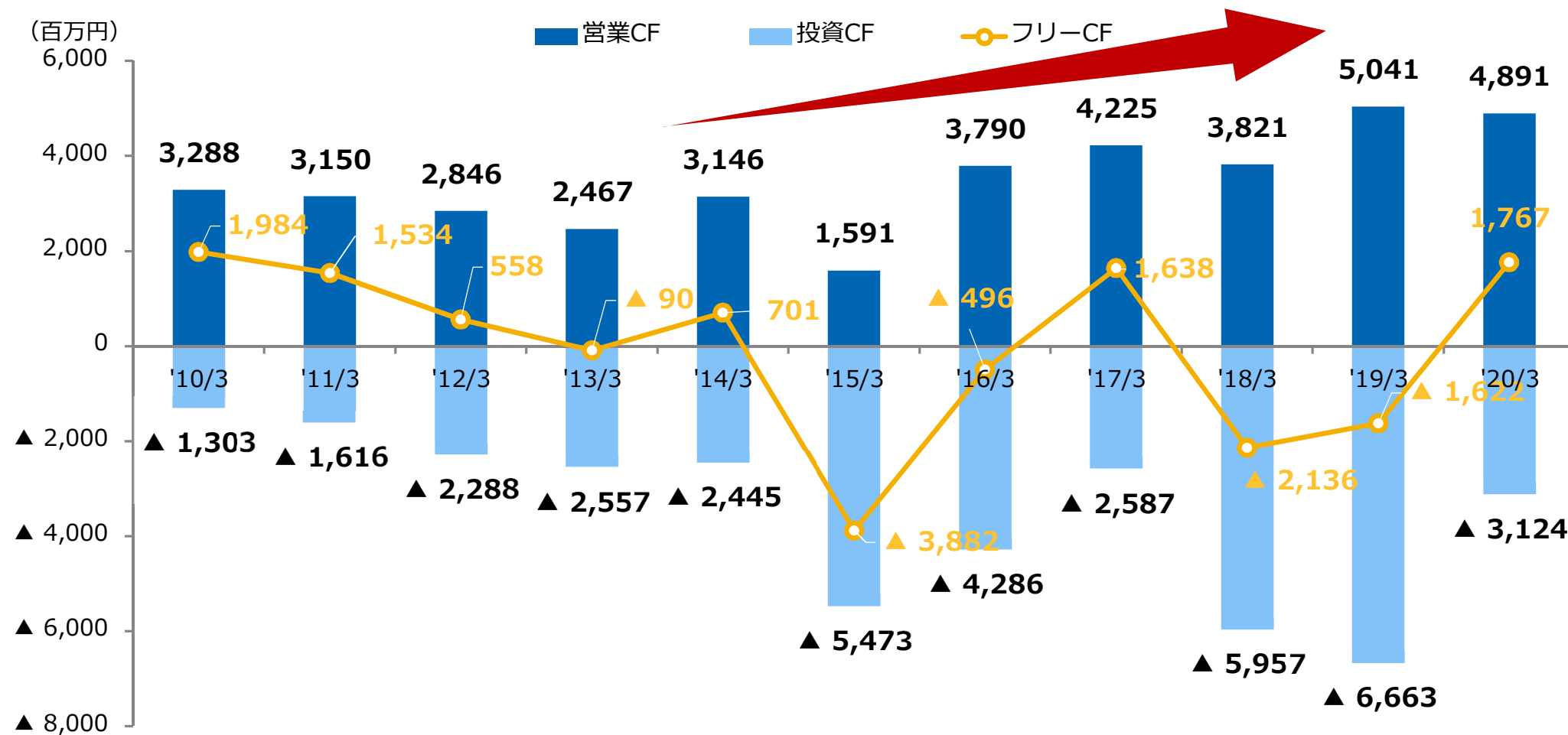
EBITDAと投資等の推移



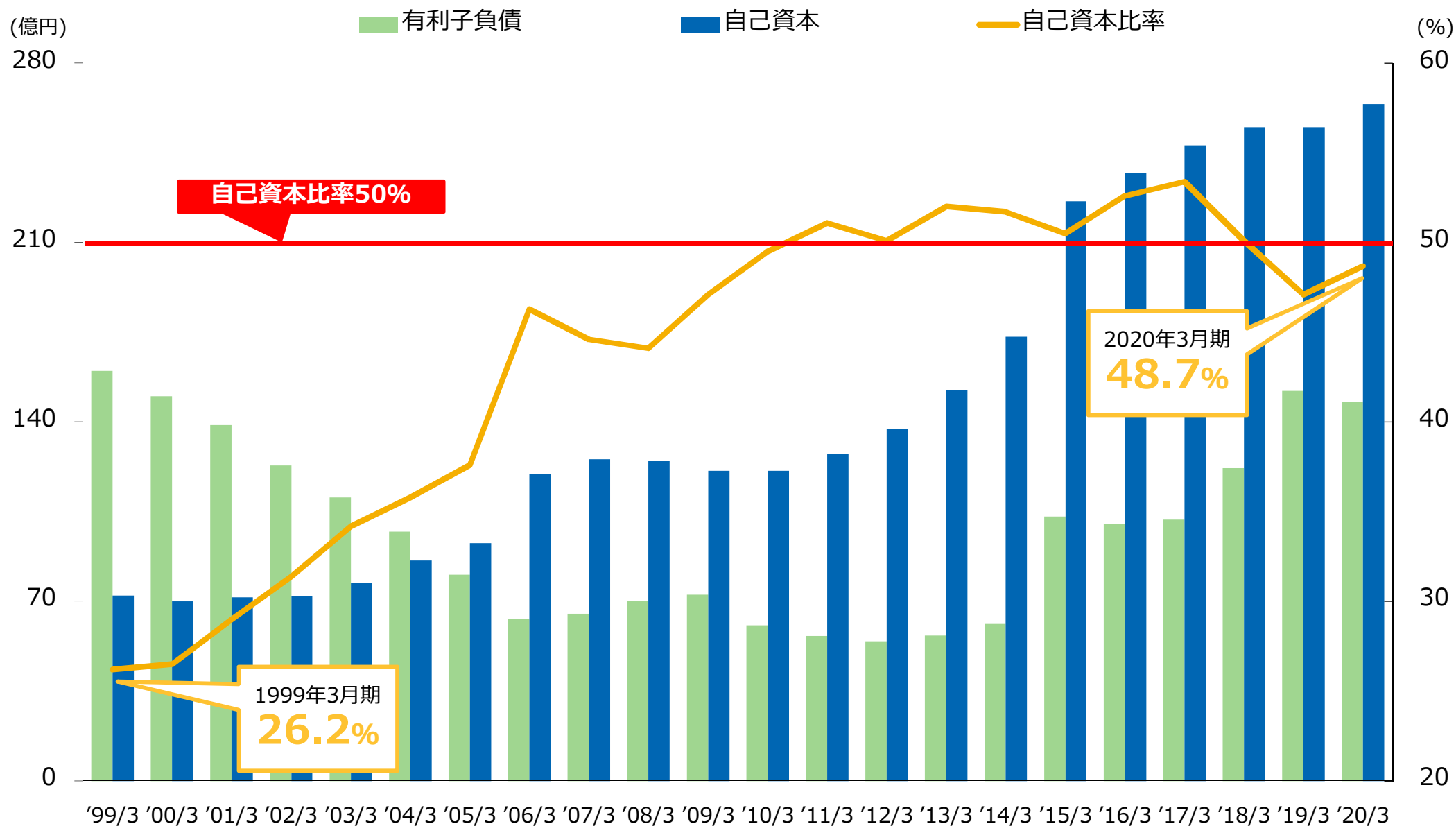
キャッシュ・フローの推移

キャッシュ創出力は着実に拡大
増加するキャッシュを活用して将来への投資を実施

キャッシュ・フローの推移



強みを発揮する安定した財務基盤



中長期的に目指す方向性

日本発、足場のグローバル企業へ

日本の足場市場で圧倒的No.1の地位確立

アジアの足場市場で一定の地位を築く

グローバルに『ニッチマーケットでトップ企業に』を追究

予想される事業環境変化

- 国土強靱化に向けた政策推進
- 大都市圏に集中する再開発事業
- 新築からリノベーションへの住宅投資の質的变化
- アジアにおける建設投資の質的变化
- 建設作業不足の常態化
- 建設現場の安全管理強化
- 安全、防災・減災、健康への投資機会拡大
- インターネット環境を利用した販売やサービスの多様化
- IoTを利用した商品機能の高度化
- 画像や音声を含んだ大容量データ通信の普及

中・長期的に取り組む経営課題

建設機材・レンタル関連事業

新型足場市場トップシェアの確立

新型足場の用途拡大に向けた製品開発

生産と物流の効率化

アジアにおける仮設機材市場育成

物流関連事業の拡大

住宅機器関連事業

フィットネス事業の拡大

M&Aシナジーの追究

電子機器関連事業

無線からデータ通信関連製品への展開

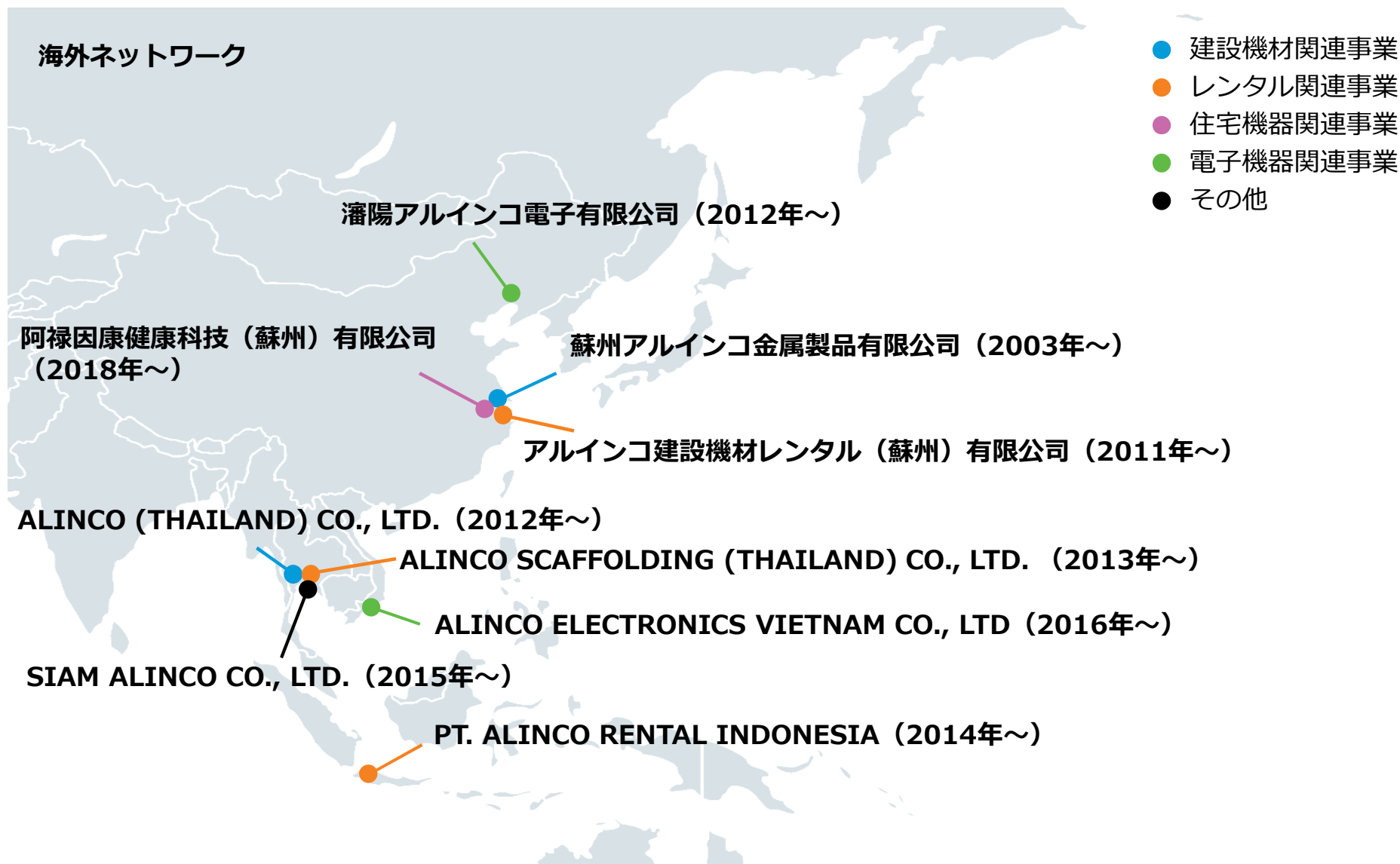
これまでの構造改革により、
継続的な成長投資に耐えうる事業基盤を構築

堅調な需要が続く国内へ投資し、
事業基盤をさらに強化

並行して海外への投資も行い
海外の成長を取り込む

利益成長を中長期にわたってさらに加速

中国、タイ、インドネシアを最重要ターゲットに海外展開

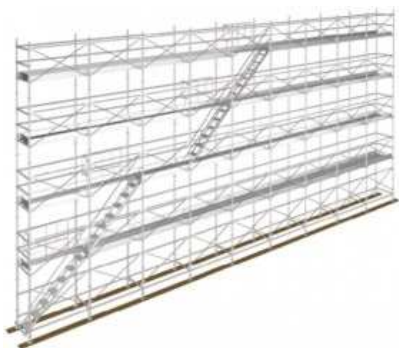


コア事業の概要

【建設機材関連、レンタル関連】

足場を中心とした仮設機材全般を販売とレンタルで供給

主要製品と施工事例



新型足場アルバトロス

中高層市場シェアNo.1



アルミ製軽量朝顔

市場シェアNo.1



SKパネル

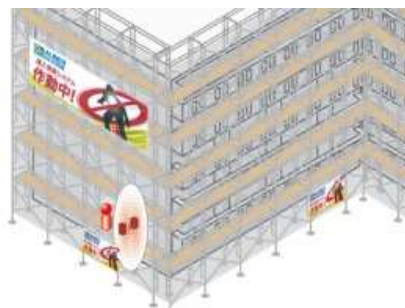
市場シェアNo.1



アルミ合金製作業台



荷受けフォーム

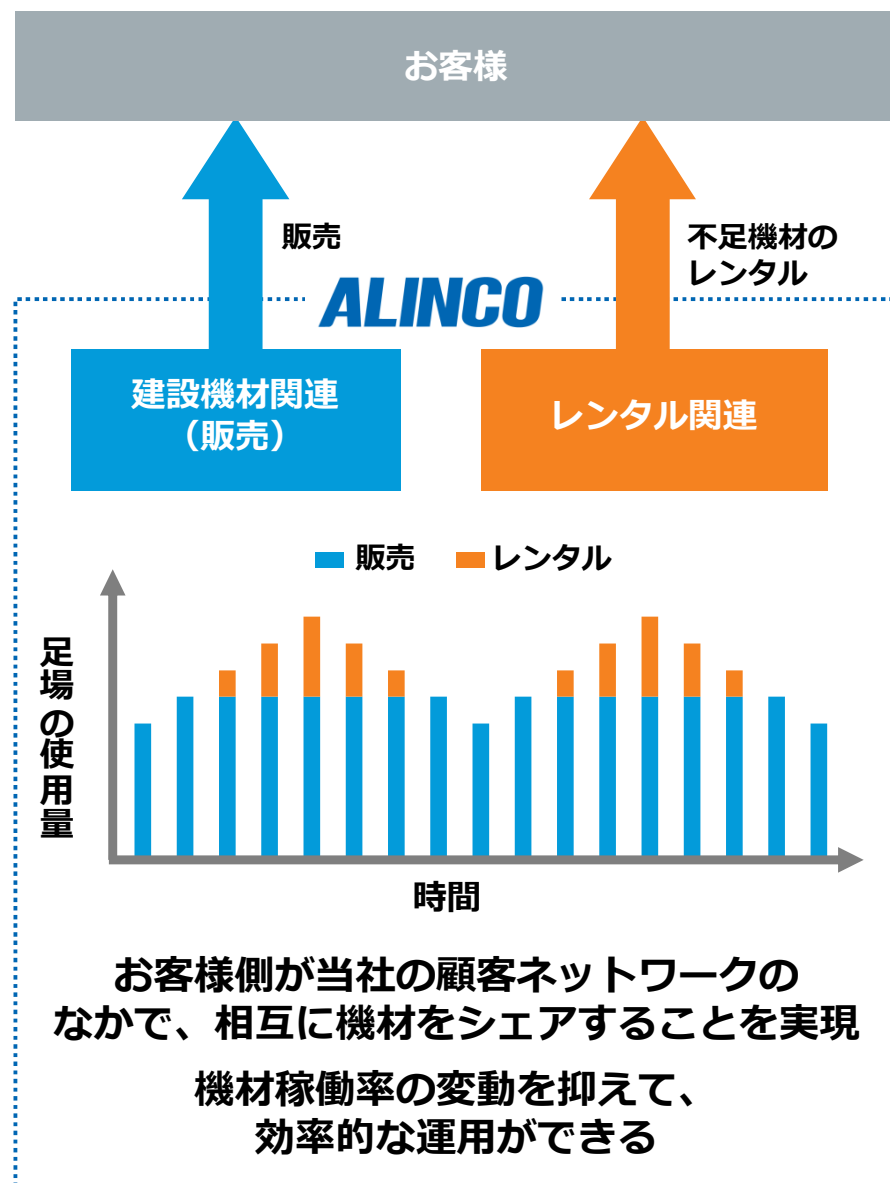


仮設足場侵入警報システム



高さ80mのタワーマンション
B2階からの立ち上がりの足場部分は最高高さ90m

建設機材の販売とレンタルのシナジーを追究



お客様のメリット

- 足場への投資を平準化することができる
- 必要な時に、必要な量を確保し、足場の保管費用を削減することができる
- 多種多様な仮設機材をワンストップで調達できる

当社のメリット

- 新製品をレンタルして試用することで、購入を促すことができる
- 販売とレンタル用双方の機材を製造するため、スケールメリットを活かした製造コスト低減が可能

中高層、低層の両市場に足場を提供

お客様の特性にあわせた事業展開で業界トップの地位を確保

中高層

高層ビル・
マンションなど



- 求められる性能
安定性 > 施工性・軽さ

- 主なユーザー
大手ゼネコン

開発・製造をメインとし、
レンタルによって
シナジーを追究

似て非なるマーケット

低層

戸建住宅など



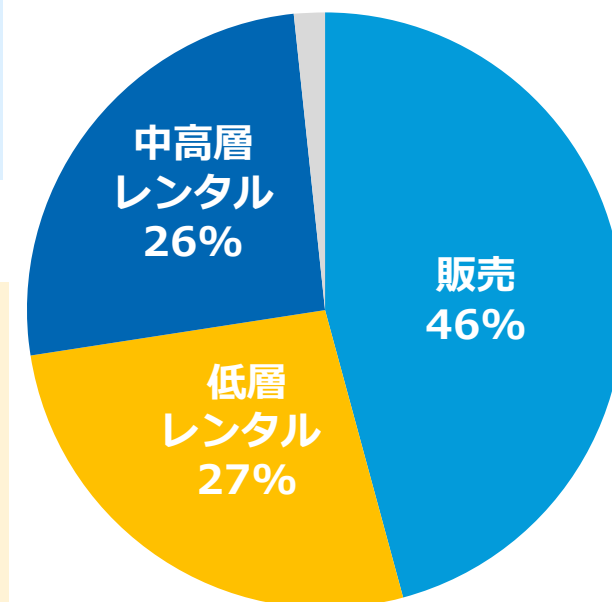
- 求められる性能
施工性・軽さ > 安定性

- 主なユーザー
ハウスメーカー
中小工務店

足場の組立・解体、運搬を
ワンストップで提供

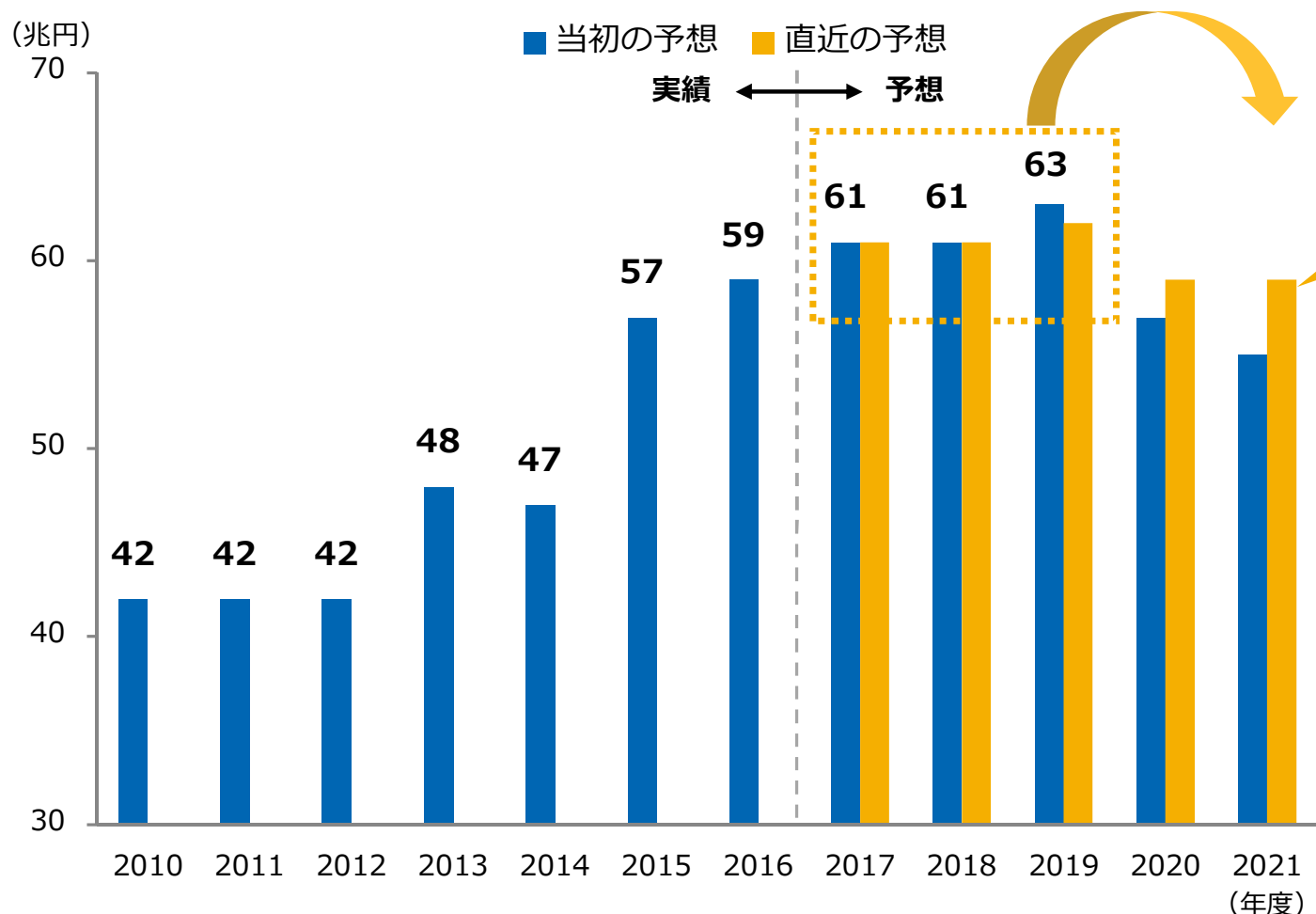
当社は2つのマーケット
で事業展開

コア事業構成比
(2020年3月期)
その他 1%



2020年以降も堅調な建設投資が続く見通し

建設投資額（名目値）の推移



新型コロナウイルス感染症の影響は2021年度まで残る見込みであるが、従来予定されていた工事の後倒しが生じ、受注未消化によって一定水準の建設投資が続く

見込まれる建設投資

- 首都圏の再開発
- 訪日外国人の増加によるホテル・商業施設の建設増
- 建物やインフラの老朽化対策

出典：国土交通省総合政策局「令和元年度建設投資見通し」（ただし、「当初予想」の2020年度以降、および「直近の予想」は当社の予想）

2020年以降も大型再開発が日本全国で続く

東京23区の子な案件

東京駅周辺

- 八重洲市街地再開発 (2022年~2025年)
- 日本橋一丁目中地区再開発 (2025年)
- 日本橋室町一丁目地区再開発 (2026年~2032年)
- 東京駅前常盤橋プロジェクト (2027年)

虎ノ門・赤坂・神谷町

- 虎ノ門・麻布台プロジェクト (2023年)
- 虎ノ門二丁目地区 業務棟 (2023年)
- 赤坂二丁目プロジェクト (2024年)

渋谷

- 渋谷駅桜丘口地区市街地再開発事業 (2023年)
- 渋谷スクランブルスクエア (2028年)

西新宿・池袋

- 西新宿三丁目西地区市街地再開発事業 (2029年)
- 池袋駅西口地区再開発
- 東池袋四丁目市街地再開発事業 (2022年)
- 南池袋市街地再開発 (2024年~2025年)

品川・泉岳寺

- 品川開発プロジェクト第1期 (2024年頃)
- 品川駅西口地区 (2027年以降)
- 品川駅街区地区 (2027年以降)
- 京急品川駅ビル開発 (2030年頃)
- JR品川車両基地跡地開発(第II期) (2030年以降)

全国各主要都市の子な案件

横浜

- 山下ふ頭再開発 (2020年頃から着手予定)
- みなとみらい開発計画(仮) (2023年)
- 横浜駅西口地区再開発 (未定)
- 横浜ユナイテッドアリーナ (2024年)
- 横浜市役所跡地再開発計画 (2025年)

名古屋

- ノリタケの森プロジェクト(2021年秋)
- 錦二丁目再開発事業 (2021年)
- 東桜一丁目開発 (2022年春)
- オリエンタルビル再開発計画 (2029年)

大阪

- 大阪梅田ツインタワーズ・サウス(2022年)
- うめきた2期地区 (2024年)
- 茶屋町再開発事業 (未定)
- (仮称)梅田曽根崎計画 (2022年)
- JR東海道線支線地下化・新駅(北梅田駅)設置工事 (2023年)
- 堂島二丁目特定街区(電通関西支社跡地) (2024年以降)
- 淀屋橋駅東地区都市再生事業 (2025年)

福岡

- 天神ビッグバンプロジェクト (2024年)
- アイランドシティ開発計画

札幌

- 札幌駅・大通公園周辺マンション再開発
- 北海道ボールパーク開業計画 (2023年)

※ () は2019年12月時点での竣工予定年度

今後の目指す方向性

新型足場「アルバトロス」の拡販と関連製品の開発

- アルバトロスの機能性に対する認知度の向上により
枠組み足場からの置き換えを促進
- 用途拡大に向けたオプション製品の開発
- 高速道路補修向け「SKパネル」の需要増への対応

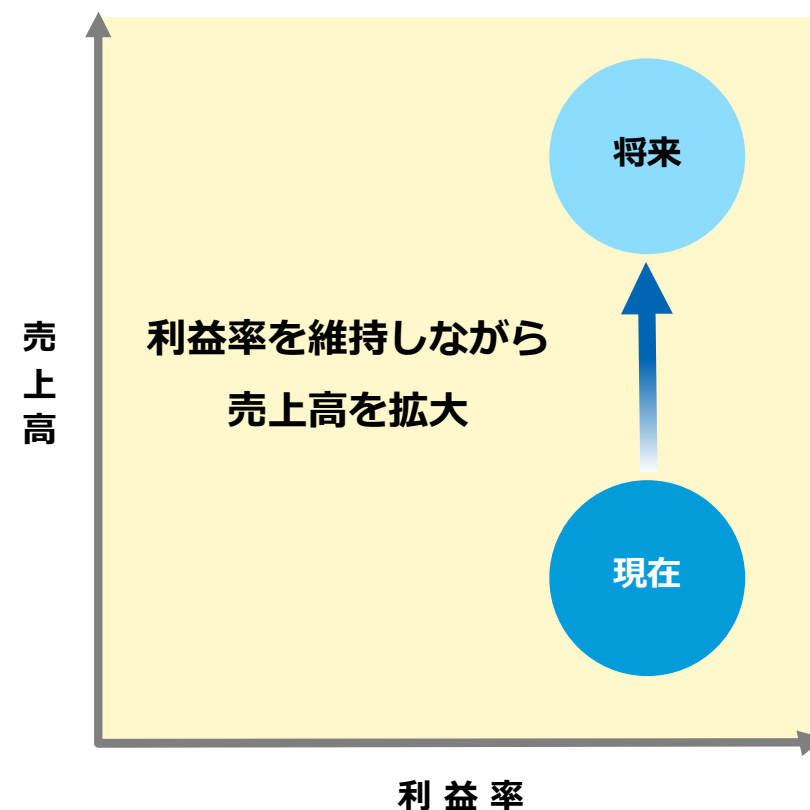
レンタル資産の高稼働維持と継続的な投資

- 中高層：アルバトロスの高稼働維持
- 低層：非住宅分野の拡大
- レンタル資産への投資は計画通り遂行

海外におけるローカル展開による収益性の改善

- ローカル展開による償却前利益の黒字化

コア事業の収益イメージ



枠組み足場から新型足場への買い替えを促進

安全性とコストメリットを訴求し新型足場への買い替えを促進

今現場で起きていること

- 足場の安全基準が高まり、既存の足場に安全機材を追加するか、新型足場に入れ替えるか、選択を迫られている。
- 官公庁案件で義務付けられている安全機材の装着が民間案件でも徐々に浸透している。
- 各社の足場は互換性がないため、どの会社の足場を選択するのか、決断を迫られている。



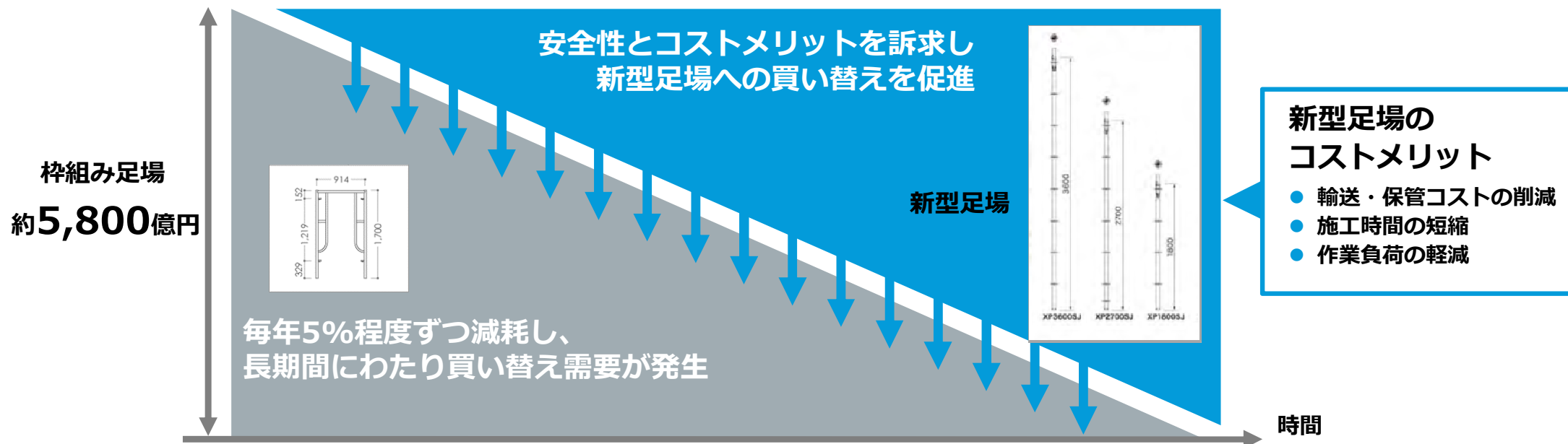
選択にあたって重視すること

- 安全性が高い足場であること
- 長年にわたって安定供給できること



当社にとって
追い風

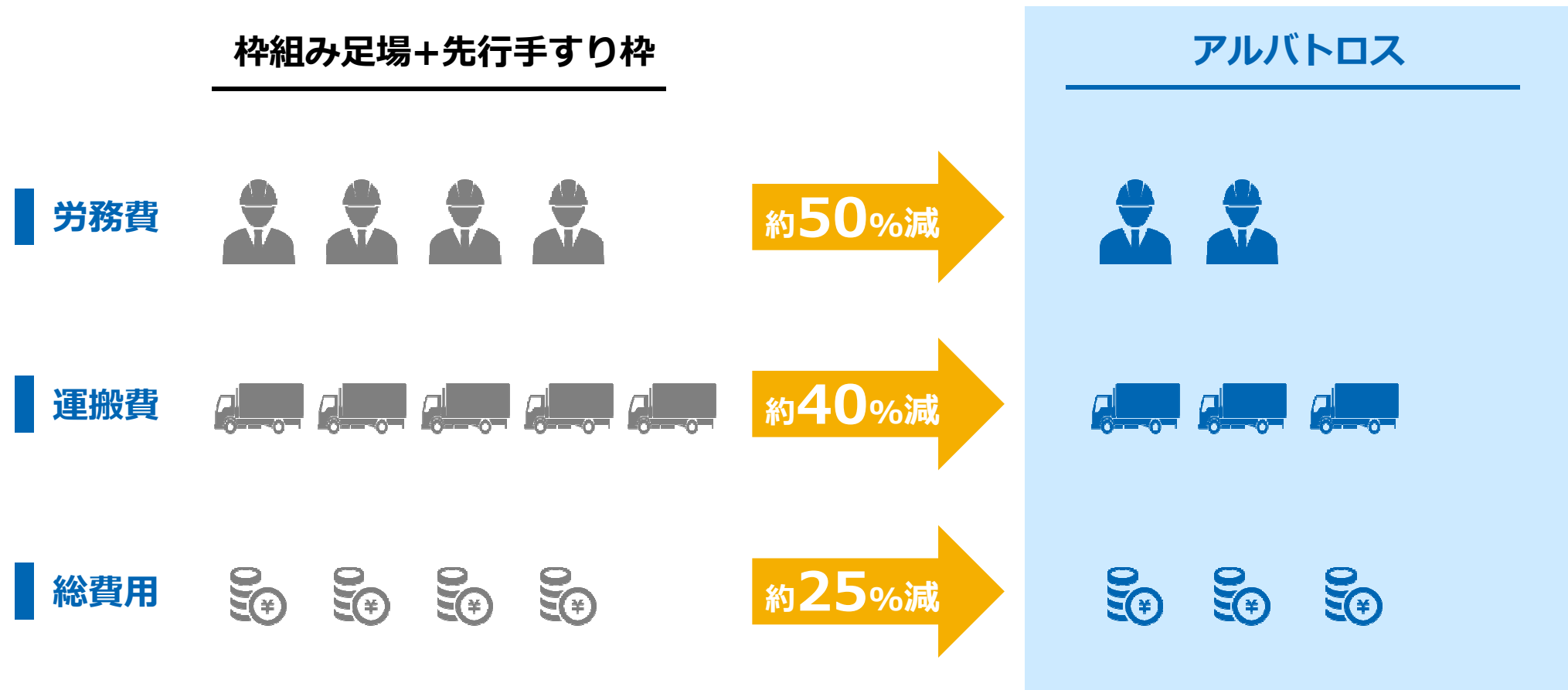
市場に流通する枠組み足場



進化した新型足場「アルバトロス」

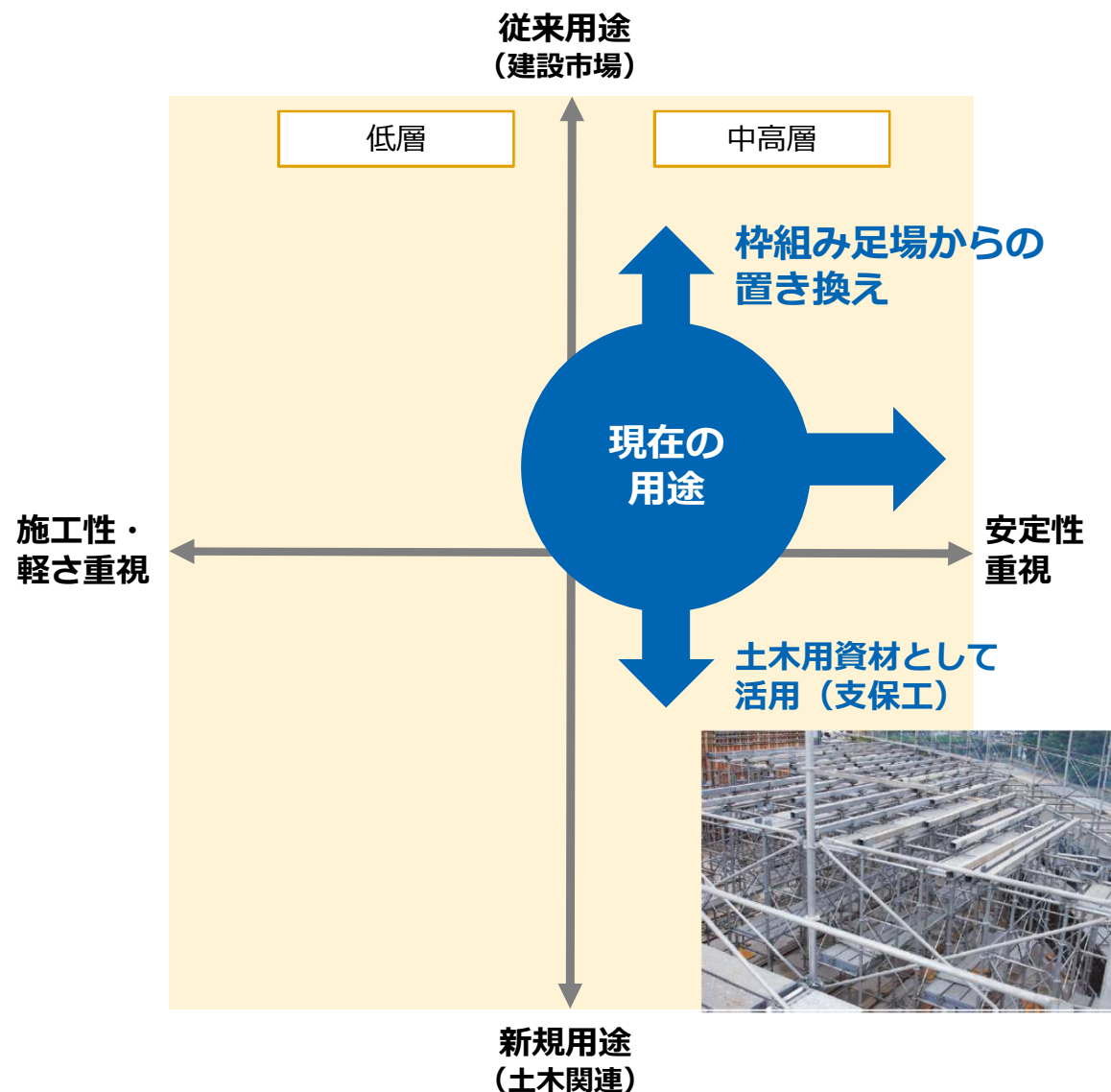
安全性と施工性に優れた新発想の足場「アルバトロス」で トータルコストダウンを実現

足場設置コスト比較表（2015年大手レンタル会社のデータによる）



※現場条件により異なります

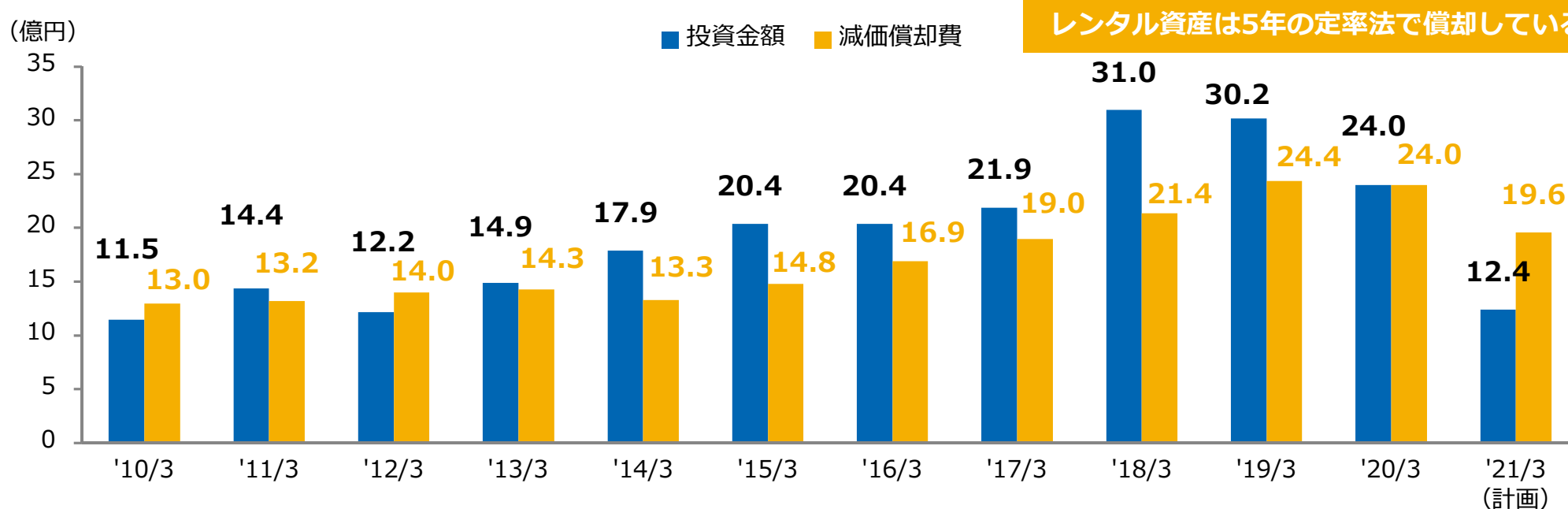
アルバトロスの強みを活かして用途を拡大していく



アルバトロスの強み – 進化する足場 –

- 国内トップメーカーの実績と信頼
 - 安定供給・安定品質
 - 強固な顧客基盤・信頼関係
 - 付属品を含めた豊富な品ぞろえ
- 幅広い用途に対応できる耐久性
 - 高さ90mまで積み上げ可能
 - 円形の建物にも利用可能
 - 支保工としても利用可能

市場占有率を高めるために当面は投資を継続していく方針であるが、
2021年3月期は資産の稼働状況をみて一時的に投資抑制



これまでの投資実績

- 自己資本の充実に向けて有利子負債削減を優先
- 減価償却と投資の均衡を図る
- レンタル資産への投資内容は、機材の減失に応じた更新投資が中心

今後の投資

- 新型足場の置き換えに対応して、当社製品「アルバトロス」の市場占有率を高めるため、販売と連携した投資を継続
- 国内は新型足場をテコにしたオプション機材の投下によって、土木などへの利用機会拡大を図る
- 海外は市場開拓にしたがって投資

日本で確立したブランドを活かして成長著しいアジアへ展開

国内

国内圧倒的No.1ブランドの
地位を確立

設計

アルインコ

製造

アルインコ

- 国内外の自社工場で高品質な製品を安定的に製造
- 今後、国内で発生する新型足場需要に当社の製造能力を集中

さらなるシェア拡大

海外

日本スタンダードの製品を
海外に展開

国内でのブランドを
活かして展開

製造

パートナー

レンタル

アルインコ



- 足場レンタル市場の質的な変化を促すことで、高品質な足場に対するニーズを育成
- 足場の安全かつ効率的な施工に向けた技術が無償で供与

速やかな市場浸透

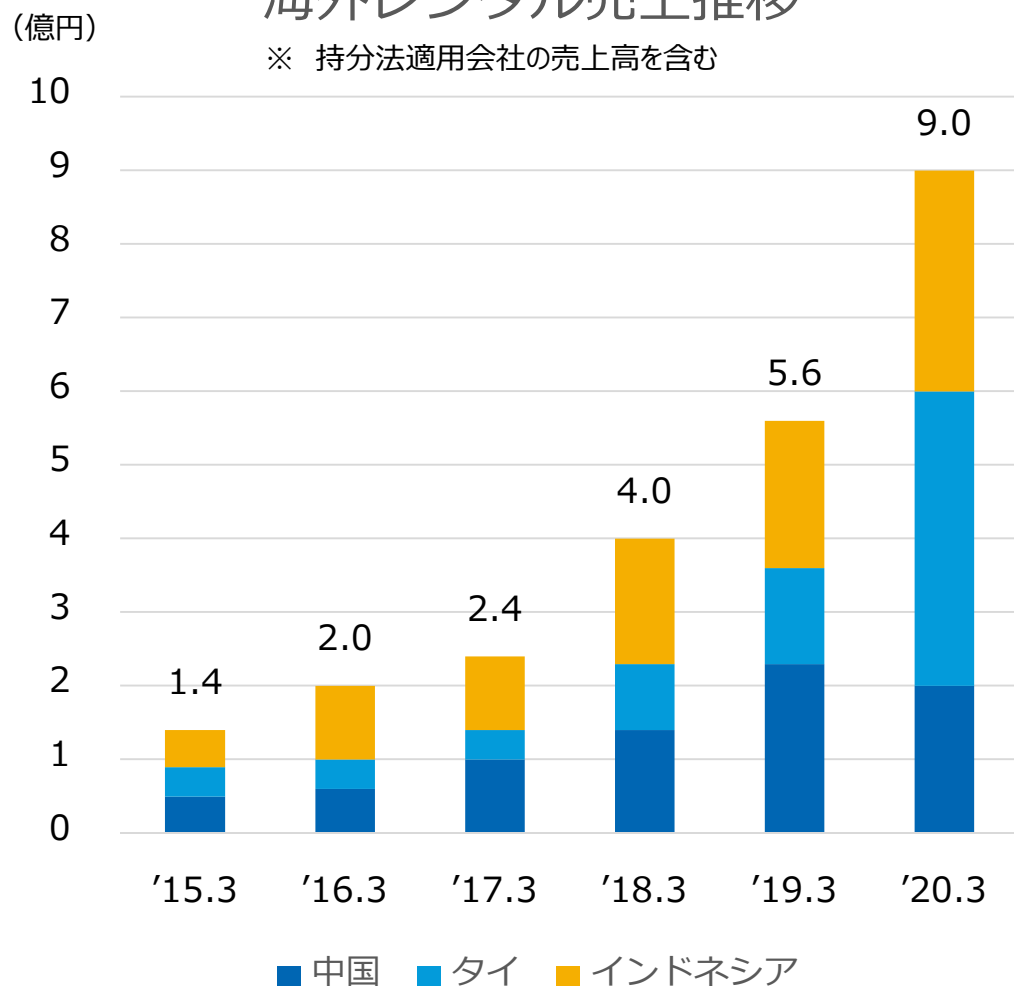
海外におけるレンタル関連事業は着実に拡大

ハードとソフトの両面で日本式品質を提供し、価格競争回避

日本式安全機材と現場施工安全指導をセットで提供

海外レンタル売上推移

※ 持分法適用会社の売上高を含む



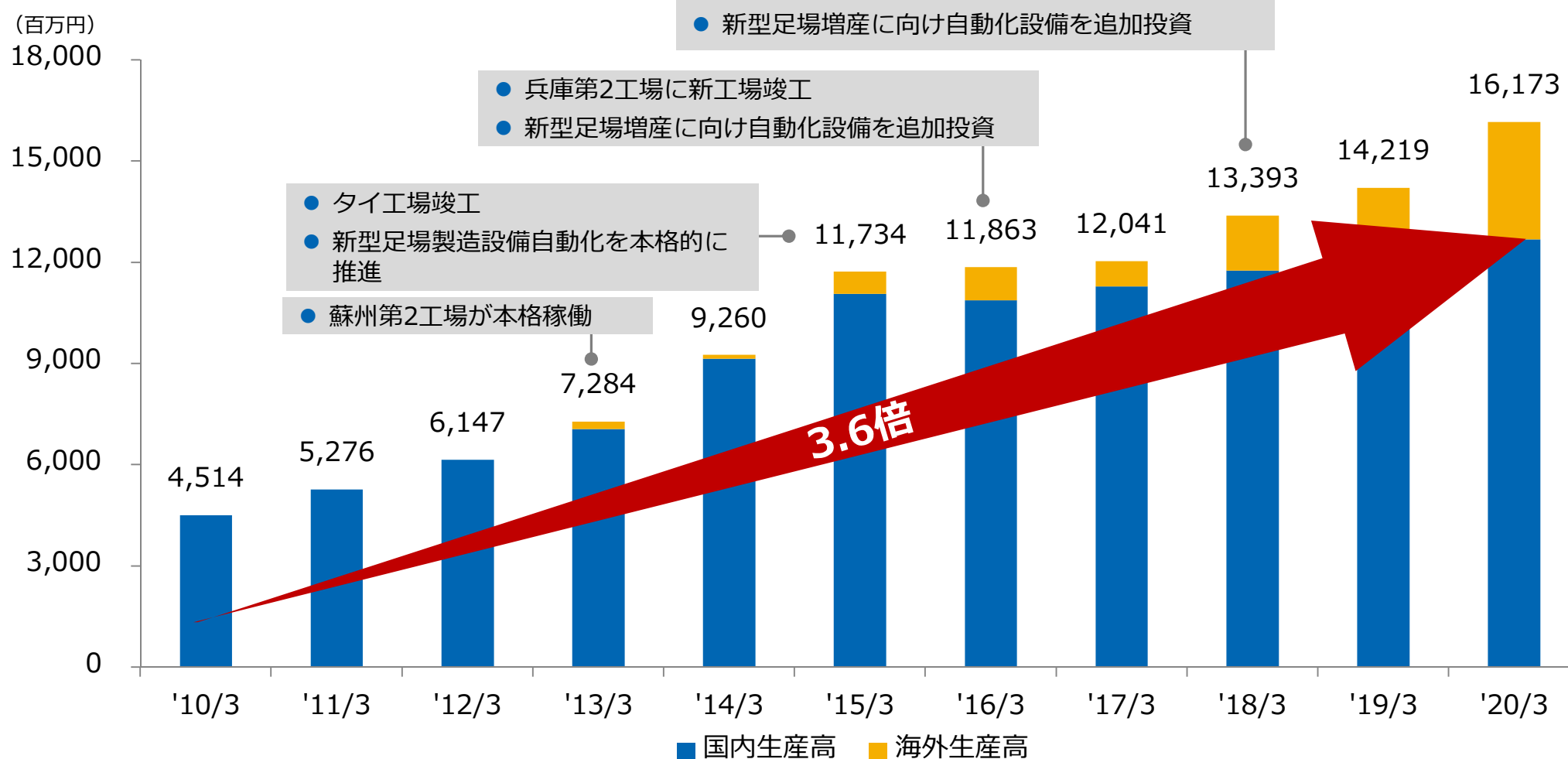
インドネシア
パティンバン港接続道路
パイルスラブ支保工



インドネシア
ムアラカラン発電所

仮設機材の需要増に備えた生産能力増強を行い、生産量は飛躍的に増加

仮設機材の生産高推移



物流関連部門の状況

当社連結子会社である双福鋼器株式会社の株式を住友商事株式会社から2020年6月29日付で追加取得し、完全子会社化しました。



2020年6月18日

各 位

会社名 アルインコ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小林 宜夫
 (コード番号 5933 東証第一部)
 問合せ先 執行役員総務人事本部長 川上 義広
 (電話番号 06-7636-2222)

子会社株式の追加取得による完全子会社化に関するお知らせ

当社は、2020年6月18日開催の取締役会において、当社連結子会社である双福鋼器株式会社の株式を住友商事株式会社から追加取得し、完全子会社化することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

双福鋼器株式会社は既に当社連結子会社であります。当社グループ内における一層の連携により、今後更に拡大する物流システム機器市場への一層の対応を通じて企業価値の向上を図ることを目的に完全子会社化いたします。

2. 当該連結子会社の概要

①名称	双福鋼器株式会社
②所在地	三重県伊賀市治田字鳥屋ヶ尾2506番地の23
③代表者	代表取締役社長 吉岡 宏章
④事業内容	物流保管設備機器（ラック）・鋼製床材の製造、販売
⑤資本金	84百万円
⑥設立	1967年2月4日

3. 取得株式数、取得前後の所有株式の状況

①異動前の所有株式数	85,680株 (議決権所有割合: 51.0%)
②追加取得株式数	82,320株 (議決権所有割合: 49.0%)
③異動後の所有株式数	168,000株 (議決権所有割合: 100.0%)

4. 株式取得実行日

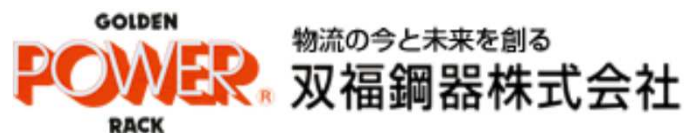
2020年6月29日 (予定)

5. 業績への影響

当社は2021年3月期の連結業績予想について、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を精査中のため未定としており、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示することとしております。

双福鋼器株式会社は既に当社の連結子会社ですが、本件株式取得が連結業績に及ぼす影響についても、2021年3月期の連結業績予想に織り込んで開示することといたします。

以上



～物流保管機器(スチールラック)と鋼製床板(スチールフロア)の製造メーカー～



工場・倉庫・店舗に於ける物流現場の人手不足による入出庫・仕分け・ピッキングの自動化、保管効率の改善・高度化、耐震化などの課題に対応

パワーラック

独自製法による角パイプ構造が高い耐震性を実現



パワーランナー

収容能力倍増を実現する移動式ラック

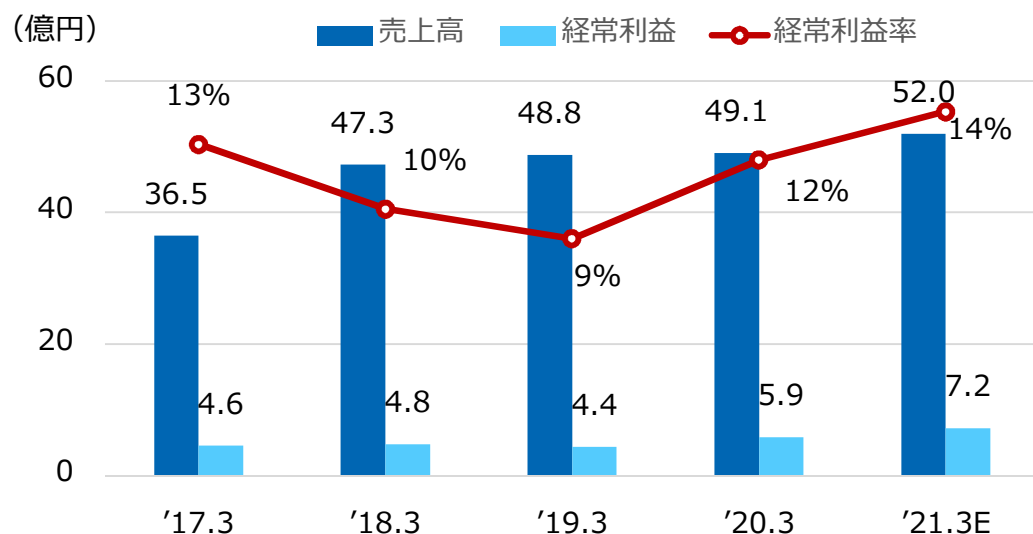


国内物流システム機器 総売上高推移



出典：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会2018年度物流システム機器生産出荷統計(2019年8月)

双福鋼器(株)業績推移



物流システム機器市場拡大の背景

- ECビジネス市場の拡大・進展
- 物流倉庫の建設は老朽倉庫の刷新含めより高機能最先端大型物流施設へ

物流システム機器へのニーズ

- 多頻度・短時間・小口化・迅速化が物流機能への要請
- 大規模で多機能・高機能な最先端大型物流施設の建設ラッシュ
- 少子高齢化に伴う労働人口の減少・人件費の高騰
- 物流現場の自動化・省力化の推進
- 高度な仕分け・保管・荷捌き・自動化・省力化

次世代型物流保管システム

- 自動倉庫やシャトル系の保管システム
- 保管ラック部分には高い耐震性と高速移動するピッキングシャトルに対応する精度が要求

住宅機器関連事業の取り組み

チャネルの特性・市場ニーズをとらえた商品を投入

主要製品

アルミ製品



はしご

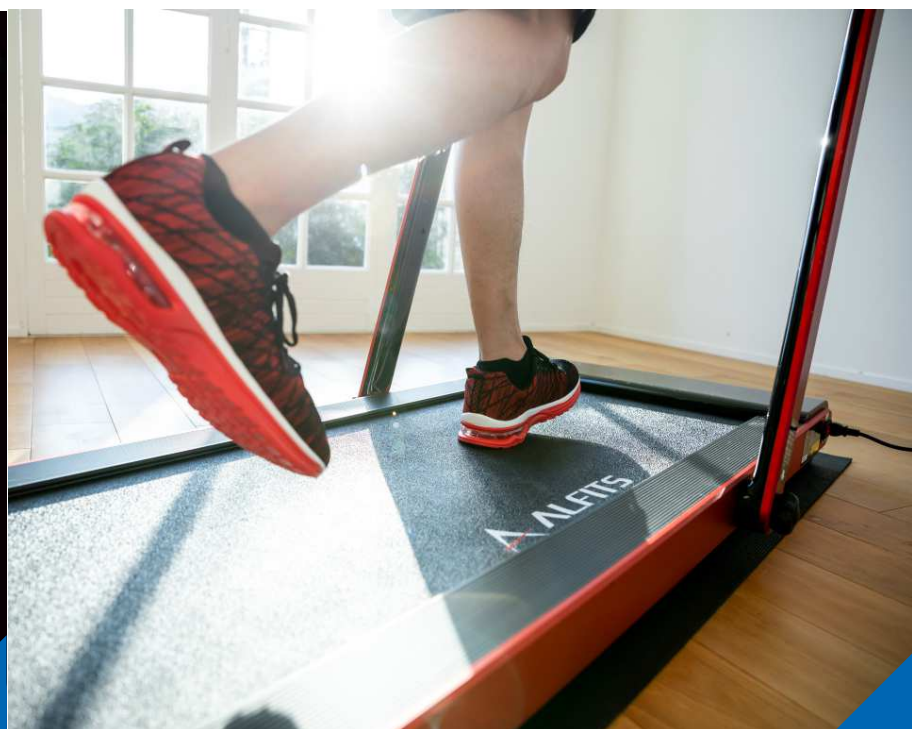


作業台



農業・運搬機材

フィットネス機器



電動ウォーカー



フィットネスバイク



マッサージ器

長年の事業活動により築いた広範かつ強固な販売網に多様な製品群を提供する



取引先

BtoC

- ホームセンター
- 家電量販店・各種専門店

BtoC BtoB

- ネット通販
- 通販

BtoB

- 金物問屋
- 専門商社

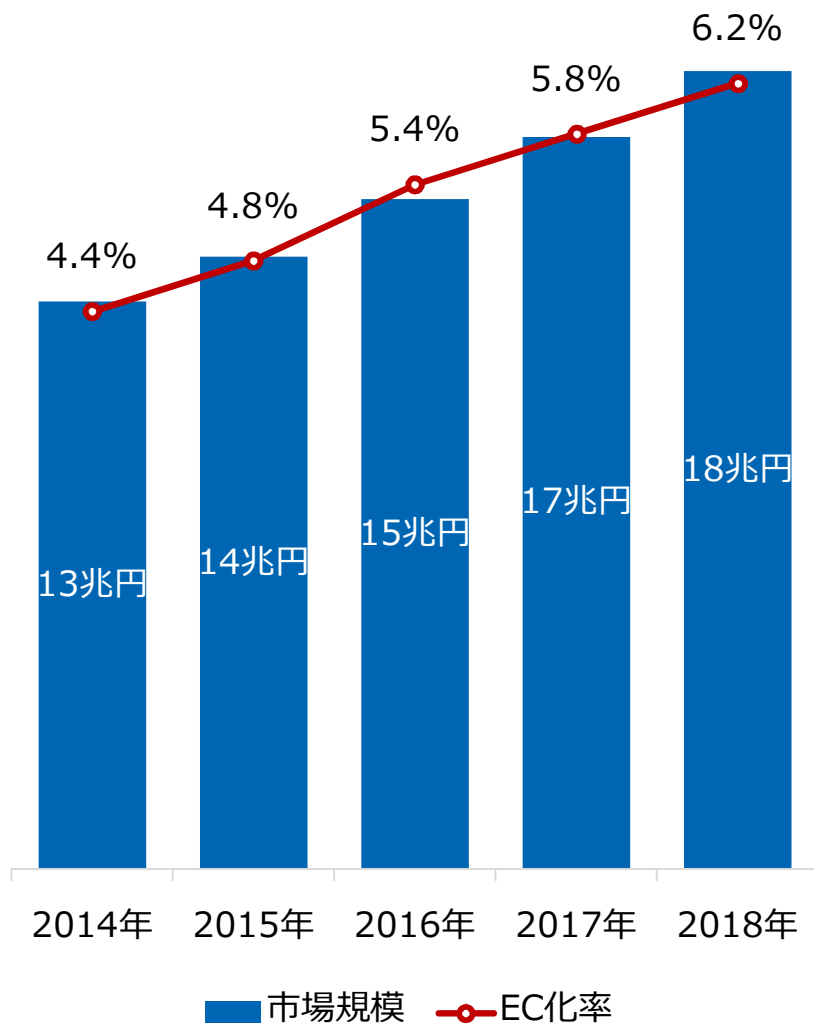
アルミ昇降 製品

ホームセンターなどの
量販店でトップシェア

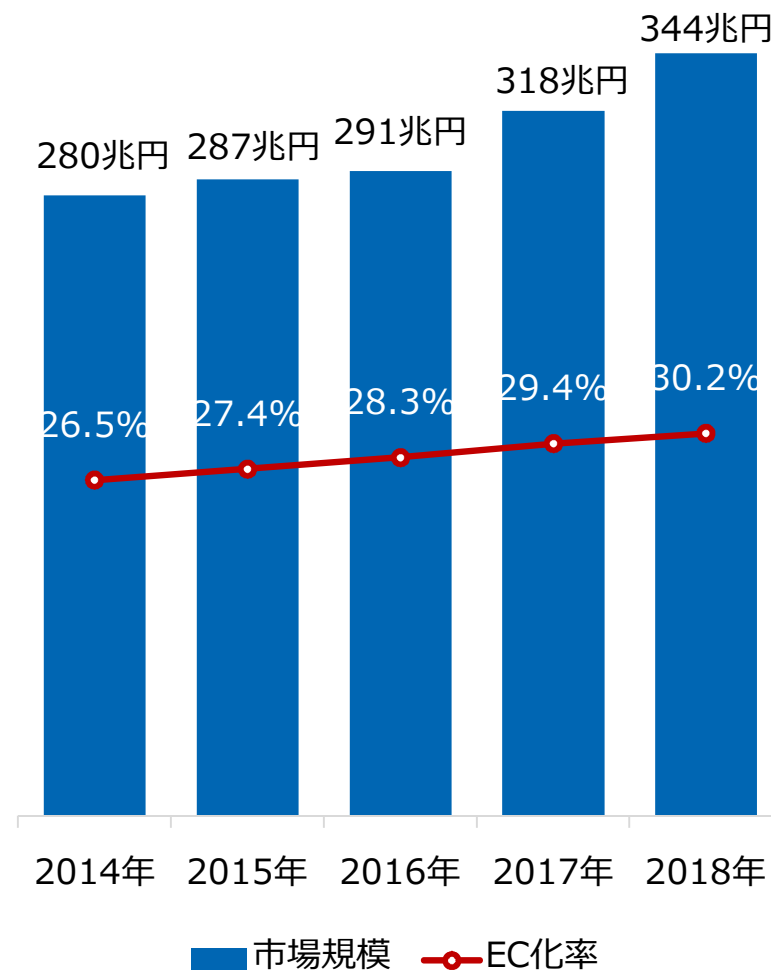
フィットネス 機器

**家電量販店、通販、
ネット**でトップシェア

国内BtoC-EC市場規模の推移



国内BtoB-EC市場規模の推移

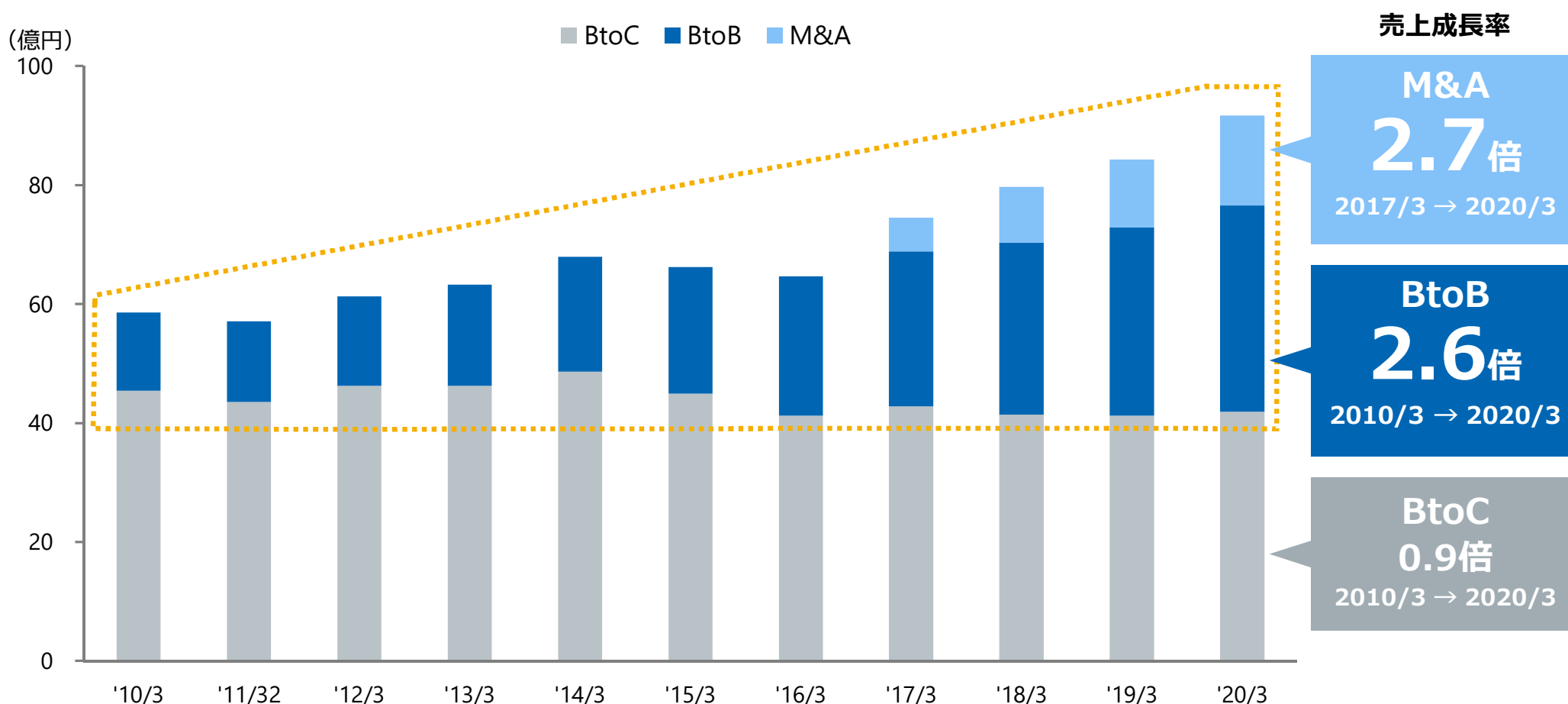


出典：経済産業省「平成30年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」

アルミ昇降製品（はしご・脚立など）の目指す方向性

工場や店舗における昇降設備に対する多様なニーズを具現化し、
「BtoB」の売上成長を目指す
「M&A」を利用した製品ジャンルの多様化を図る

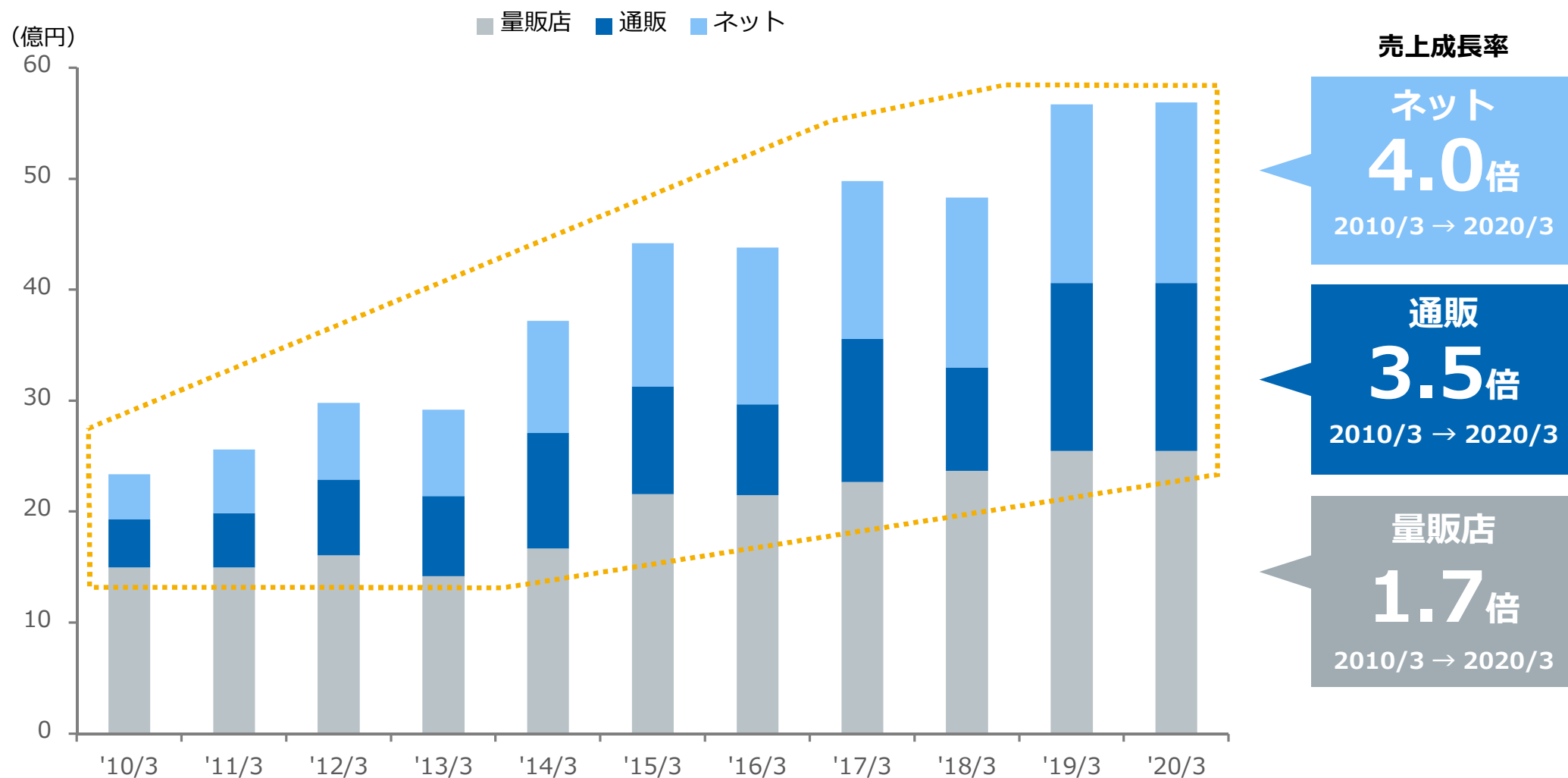
アルミ昇降製品の売上高推移



フィットネス機器の目指す方向性

「通販」と「ネット」の売上成長を目指す

フィットネス機器の売上高推移



高い優位性を誇る製品や事業ノウハウを持った
ニッチマーケットのリーディングカンパニーがM&Aのターゲット

シナジー実現への取り組み

各社のニッチ製品を
当社販売ルートで拡販

(株) 光モール (2007年6月子会社化)

アルミ型材・樹脂モール材の販売



(株) シィップ (2015年12月子会社化)

据置式昇降作業台の製造・販売及びレンタル



エス・ティ・エス (株) (2016年8月子会社化)

測量機器、レーザー機器等の企画開発・製造ならびに販売



BtoB向けアルミ製品
製造能力強化

昭和ブリッジ販売 (株) (2018年7月子会社化)

アルミ製ブリッジ、各種台車、リヤカー等の製造・販売



ALINCO
AODなら現場に最適化された作業台をスピーディにオーダー可能！

アルインコ作業台オンデマンドサービス (AOD)

ALINCO

Alinco On Demand

アルインコ 作業台オンデマンドサービス サービスガイド+オーダーシート

2019-2020

これまで煩わしいことが多かった 作業台のオーダーメイドが簡単に！
「アルインコ作業台オンデマンドサービス (AOD)」は、定番の「CSBC/GMTシリーズ」をベースに、仕様や材質、オプションを 選ぶだけで各現場に合わせた最適な1台を オーダーできる新サービスです。 しかも、10mm単位の調整にも対応でき ます。

注文の流れもスムーズ

- 1 オーダーシート送付**
パンフレットのオーダーシートに記入し 専用アドレスへメールでお送りください。
- 2 図面確認・ご発注**
オーダーシート受付後、1営業日以内で メールで図面を返信します。 図面の確認後、問題なければ正式にご発注ください。
- 3 製作・納品**
正式発注後、7営業日以内に出荷。 組立て不要の形で納品します。 (*オプション品の追加はプラス3営業日)
- 4 アフターフォロー**
ボルト式の作業台はパーツの交換も対応します。

■オーダー方法 フローに合わせて選んでオーダーシートに書き込むだけ

- 1 作業台の仕様を 決めます。**
階段の段数や、天板の寸法、 高さや構造を決めます。
例えば仕様を決める手順
1 段数を決める → 2 天板寸法を決める → 3 高さを決める → 4 構造を決める
- 2 金具の材質を 決めます。**
スチールと ステンレスが選べます。
金具 ボルトをステンレスにすること で錆や腐食に強くなり、食品工場や クリーンルームに適した仕様にな ります。
- 3 オプションを 決めます。**
多彩なオプションで、 さらに安全な作業が行えます。
手すりやジャスター、背固キャス ターなどオプションを追加すること でさらに便利になります。

AODのサービスは特定のお客様限定でご依頼を受けています。詳しくは、住器事業部の営業担当窓口にお問い合わせください。

ヘリコプター専用メンテナンス作業台



工場設備メンテナンス作業台



電子機器関連事業の取り組み

強みである小型無線技術にフォーカスした事業展開

業務用無線



GNSSシステムブルドーザ



特定小電力無線



インナーモジュール無線



コア技術
小型無線技術



防災・行政無線、消防・救急無線



今後の事業展開

- 特定小電力無線機のインカム展開
- 業務用インカム ⇒ 防災分野⇒ 業務用無線
- 業務用無線シェア拡大
- 携帯電話インフラを利用する通信機器開発
- IoTデバイス向け無線モジュール開発

当社の電子機器 関連事業の強み

小型化技術

大容量データ転送技術

低消費電力技術

ハードとソフトの
一体提案

課題を解決する
ソリューションカ

市場環境の動向

無線機の業務ユースの多様化

過去

無線機市場

- ・ 特定小電力
- ・ 簡易無線機 など

通信インフラ市場

- ・ インターネット
- ・ 携帯電話 など



現在

無線機市場と通信インフラ市場の融合

無線機
市場

新規市場

- ・ ネットワーク通信機器
- ・ 無線モジュール機器

通信
インフラ
市場

防災意識の高まり

ICT自動化施工（建機の自動化）

電子機器関連事業の 方向性

既存事業の強化

消防無線・防災無線

デジタル簡易無線

特定小電力無線

新規市場への進出

IP無線

モジュール製品の
採用分野拡大

通信インフラと
クラウドサーバを使った
ネットワーク通信機器

通信インフラと
クラウドサーバを使った
無線モジュール機器

2021年3月期第3四半期の業績 及び 通期業績予想

2021.3月期（第51期）第3四半期 連結業績

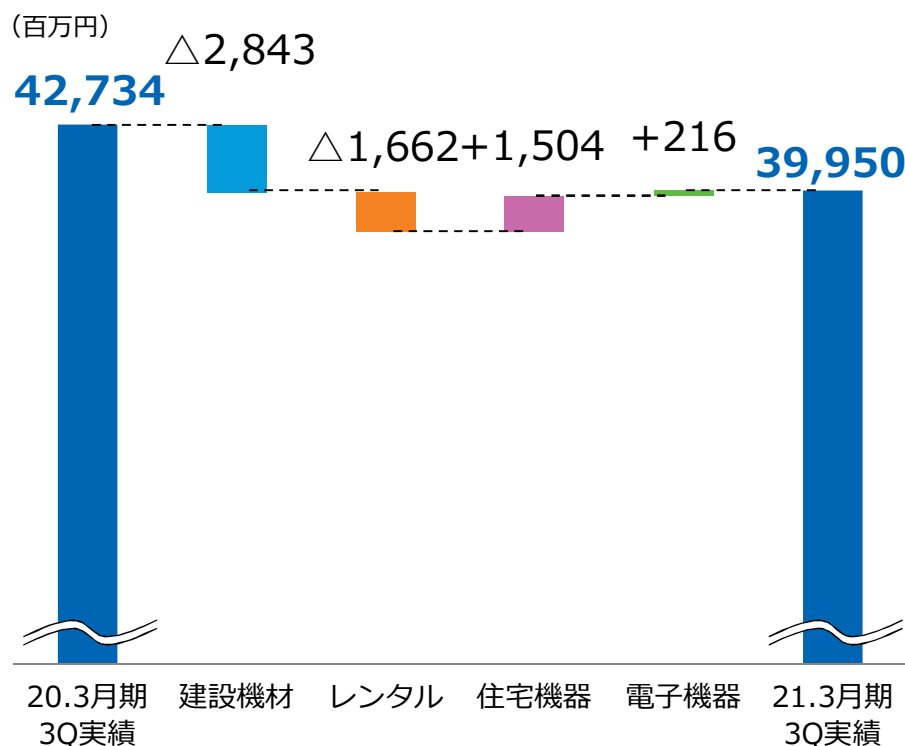
(単位：百万円)

	2019.3月期 3Q	2020.3月期 3Q		2021.3月期 3Q	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)
売上高	40,601 (100.0%)	42,734 (100.0%)	+2,133 (+5.3%)	39,950 (100.0%)	△2,784 (△6.5%)
売上総利益	11,089 (27.3%)	12,127 (28.4%)	+1,037 (+9.4%)	11,491 (28.8%)	△636 (△5.2%)
販管費	8,681 (21.4%)	9,033 (21.1%)	+352 (+4.1%)	9,447 (23.6%)	+413 (+4.6%)
営業利益	2,408 (5.9%)	3,093 (7.2%)	+685 (+28.4%)	2,044 (5.1%)	△1,049 (△33.9%)
経常利益	2,844 (7.0%)	3,357 (7.9%)	+513 (+18.0%)	2,276 (5.7%)	△1,080 (△32.2%)
親会社に帰属する四半期純利益	1,743 (4.3%)	2,302 (5.4%)	+558 (+32.1%)	1,363 (3.4%)	△939 (△40.8%)
設備投資額 (うち、レンタル資産)	2,983 (2,519)	2,657 (2,116)	△326 (△403)	2,431 (1,412)	△226 (△704)
減価償却費 (うち、レンタル資産)	2,442 (1,733)	2,476 (1,732)	+34 (△1)	2,150 (1,453)	△326 (△279)

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

2021.3月期第3四半期売上高・経常利益増減要因

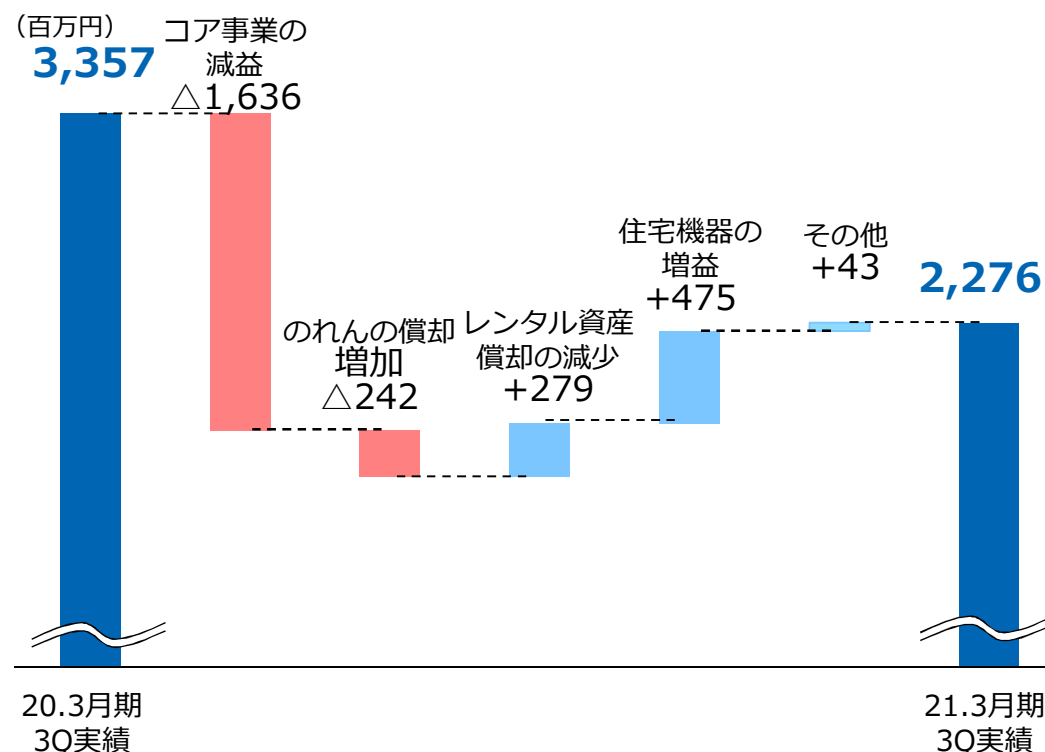
売上高



対前期比増減要因

- 新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不透明感はめぐわれていないが、レンタル会社の稼働率は上昇傾向
- 低迷していた稼働率の上昇転換によって、販売、レンタルともに業績は底打ちから上昇へ
- 物流関連は大型案件が寄与して、さらに業績拡大
- 巣ごもり消費のニーズは堅調で、フィットネス機器の販売は好調継続

経常利益



対前期比増減要因

- 売上総利益率はレンタル資産投資抑制による減価償却費減やフィットネス機器の利益率改善が寄与
- コア事業の売上高減少が底打ちから上昇へ転換したことから、減益圧力は緩和
- 子会社の双福鋼器(株)を完全子会社化したことで、のれんの償却が増加

2021.3月期（第51期）第3四半期 セグメント情報

(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益又は損失（△）	2019.3月期 3Q	2020.3月期 3Q		2021.3月期 3Q	
	実績	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率
建設機材関連	14,318 1,774	15,262 1,975	+6.6% +11.3%	12,419 860	△18.6% △56.5%
レンタル関連	13,218 450	13,332 755	+0.9% +67.4%	11,670 306	△12.5% △59.3%
住宅機器関連	10,617 425	11,600 389	+9.3% △8.5%	13,104 865	+13.0% +122.1%
電子機器関連	2,446 △54	2,539 △18	+3.8% -	2,755 13	+8.5% -
調整	- 247	- 255	- -	- 230	- -
全社合計	40,601 2,844	42,734 3,357	+5.3% +18.0%	39,950 2,276	△6.5% △32.2%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

2021年3月期（第51期）連結業績予想

✓ 51期上期業績は、双福鋼器(株)の完全子会社化に伴うのれん償却額の増加やコロナ禍の影響から、前期（50期）業績が上期偏重で第2四半期としては過去最高の業績であったこともあり、前年同期を大幅に下回った。

✓ 51期下期は経済活動正常化に向けた動きのなか、前下期業績に迫る水準までの回復を目指す。

(単位：百万円)

	2020年3月期 第50期 実績			2021年3月期 第51期 予想		
	上期 (前年同期比 増減率)	下期 (前年同期比 増減率)	通期 (前期比増減率)	上期実績 (前年同期比 増減率)	下期予想 (前年同期比 増減率)	通期予想 (前期比増減率)
売上高	28,399 (+8.4%)	27,213 (△1.6%)	55,613 (+3.3%)	25,202 (△11.3%)	26,848 (△1.3%)	52,050 (△6.4%)
売上総利益	8,006 (+12.3%)	7,377 (+1.3%)	15,384 (+6.7%)	7,294 (△8.9%)	7,437 (+0.8%)	14,731 (△4.2%)
販管費	5,986 (+3.9%)	6,059 (+5.8%)	12,045 (+4.8%)	6,319 (+5.6%)	6,362 (+5.0%)	12,681 (+5.3%)
営業利益	2,020 (+47.8%)	1,318 (△15.1%)	3,338 (+14.3%)	975 (△51.7%)	1,075 (△18.4%)	2,050 (△38.6%)
経常利益	2,151 (+29.7%)	1,309 (△20.5%)	3,461 (+4.7%)	1,124 (△47.8%)	1,216 (△7.2%)	2,340 (△32.4%)
親会社に帰属する 当期純利益	1,303 (+31.2%)	851 (△5.1%)	2,155 (+14.0%)	602 (△53.8%)	781 (△8.3%)	1,380 (△36.0%)
設備投資額	1,800	1,330	3,130	1,829	1,780	3,609
減価償却費	1,588	1,824	3,413	1,361	1,611	2,972

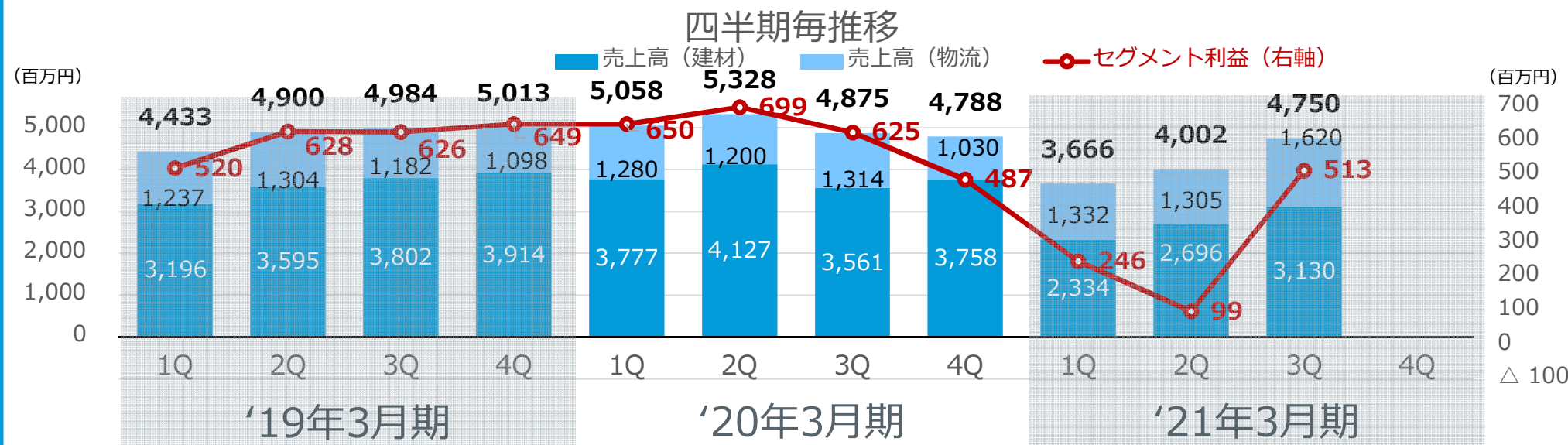
2021年3月期（第51期）予想セグメント情報

(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益 又は損失（△）	2020年3月期 第50期 実績			2021年3月期 第51期 予想			
	上期	下期	通期	上期実績	下期予想	通期予想	前期比 増減
建設機材関連	10,386 1,350	9,664 1,113	20,051 2,463	7,668 346	9,262 748	16,930 1,094	△16% △56%
レンタル関連	8,780 500	8,412 55	17,192 555	7,408 111	7,762 5	15,170 116	△12% △79%
住宅機器関連	7,543 188	7,367 165	14,910 354	8,446 560	7,994 391	16,440 951	+10% +169%
電子機器関連	1,689 △28	1,768 28	3,458 0	1,679 △13	1,831 △67	3,510 △80	+2% -
調整	- 141	- △53	- 87	- 119	- 141	- 260	- -
全社合計	28,399 2,151	27,213 1,309	55,613 3,461	25,202 1,124	26,848 1,216	52,050 2,340	△6% △32%

2021年3月期の連結業績予想については2020年10月20日発表の公表値を据え置いております。当第3四半期連結累計期間の業績は、予想の利益項目との対比において下表の通り100%に迫る状況で推移しており、当該予想の前提とした諸条件は概ね想定通りであります。今後、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期（四半期）純利益
2021年3月期通期 連結業績予想 (A)	52,050	2,050	2,340	1,380
2021年3月期第3四半期 連結業績 (B)	39,950	2,044	2,276	1,363
進捗率 (%) (B÷A)	76.8	99.7	97.3	98.8

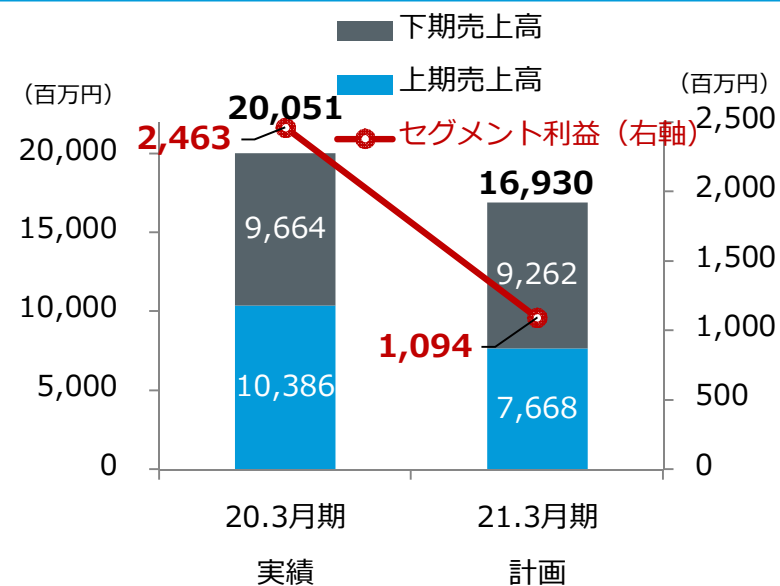


第3四半期の概要

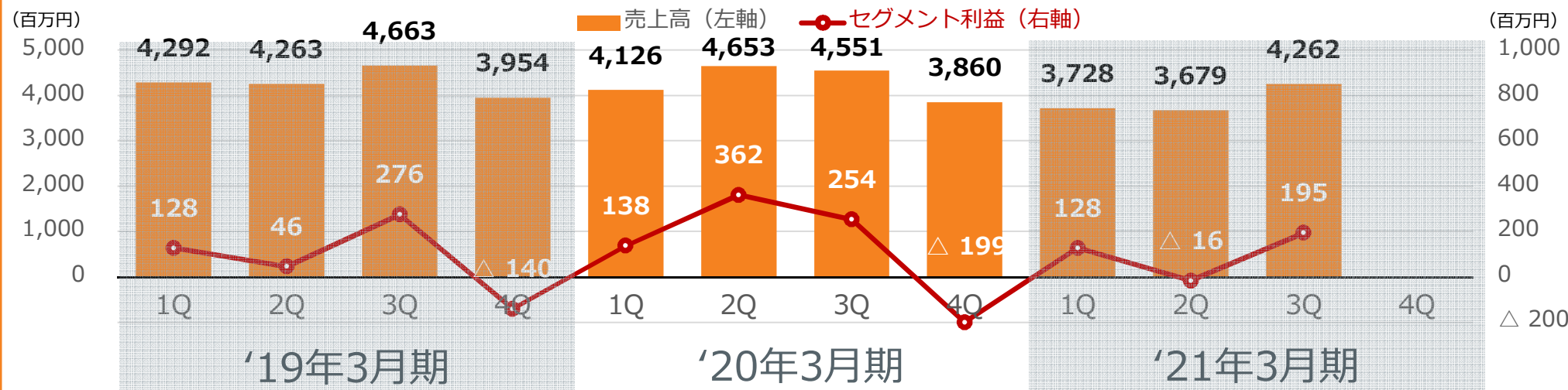
- 新型足場の販売は、新規顧客への販売が寄与して減収幅は縮小（63%減が44%減まで縮小）
- SKパネルは、高速道路補修工事向けの需要が確実視されレンタル会社の購買増によって売上が前期比56%増
- 物流関連は大型案件の受注が好調

通期予想の前提

- 下期は既存顧客への販売回復と新製品の販売によって、仮設機材の販売は回復に向かう見通し
- 物流関連は次世代型物流自動システム向けにおいて受注環境は良好で、第2四半期に計上した一過性費用ののれんの償却額（2.2億円）をこなして通期で連結業績に寄与



四半期毎推移

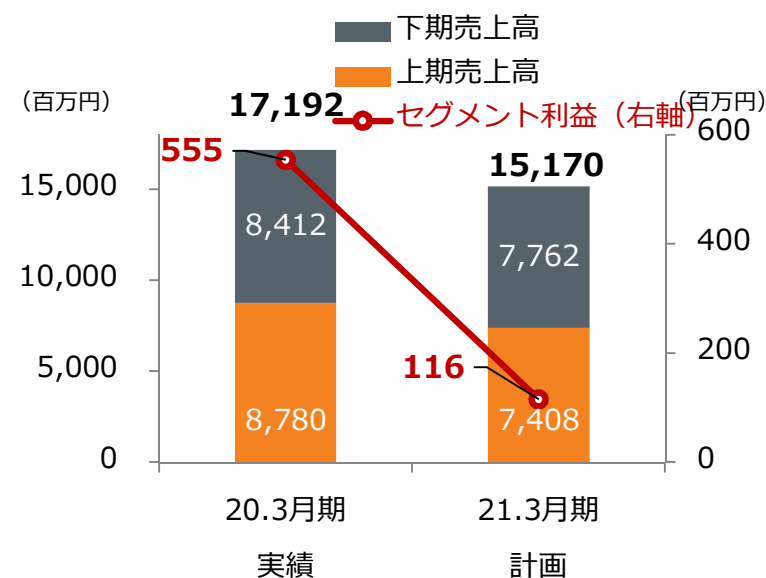


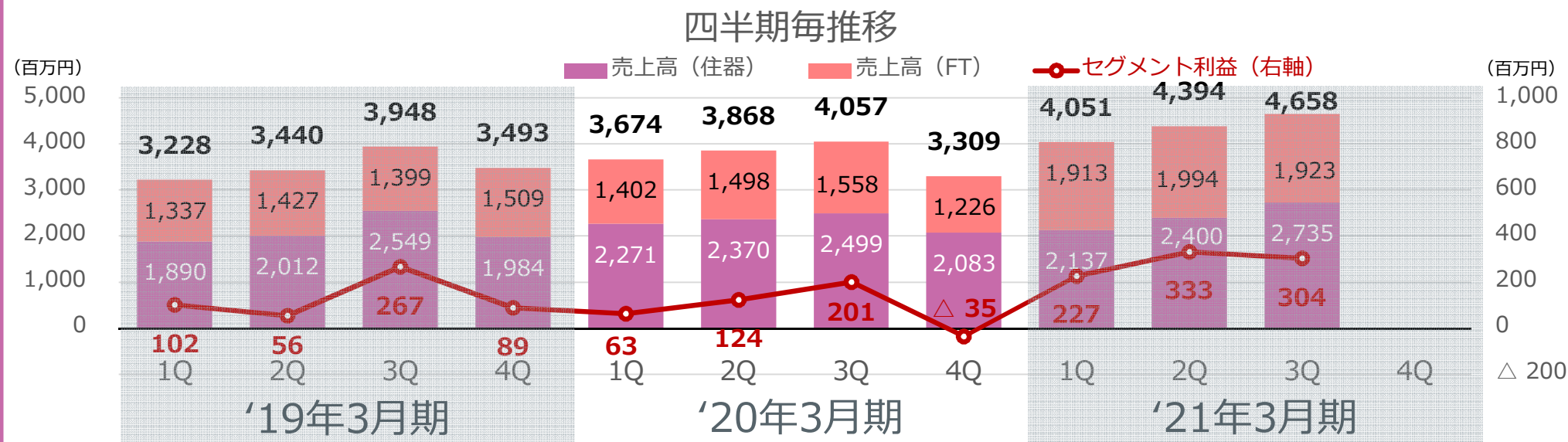
第3四半期の概要

- 期初の緊急事態宣言下で一部の建設工事が一時的に中断
- 夏場以降、低層用、中高層用レンタルとも機材稼働率は底を打ち上昇
- 稼働率上昇が業績回復に寄与したが、イベント向けは依然として影響残る

通期予想の前提

- 足下では稼働率が上昇に転じ、下期の稼働率は前年同期並みまで回復する見込み
- レンタル資産投資は前期比50%減としたことから、償却負担も前期比約4億円減少する見込み



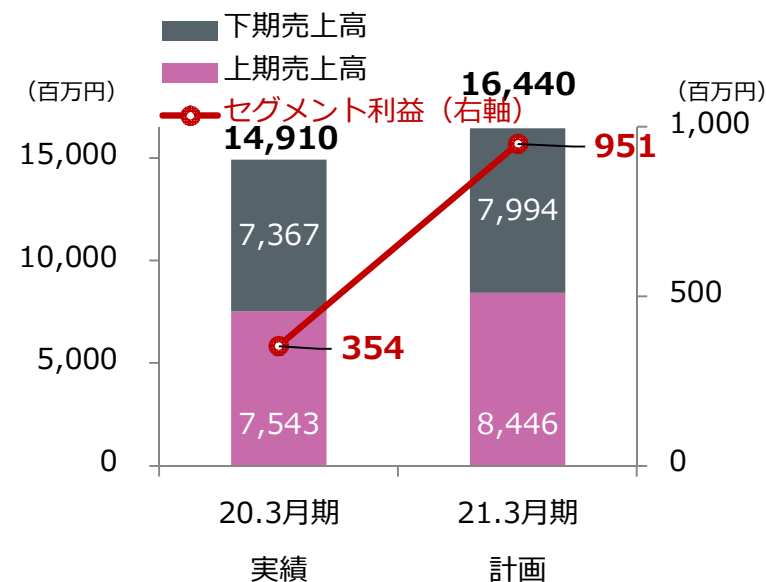


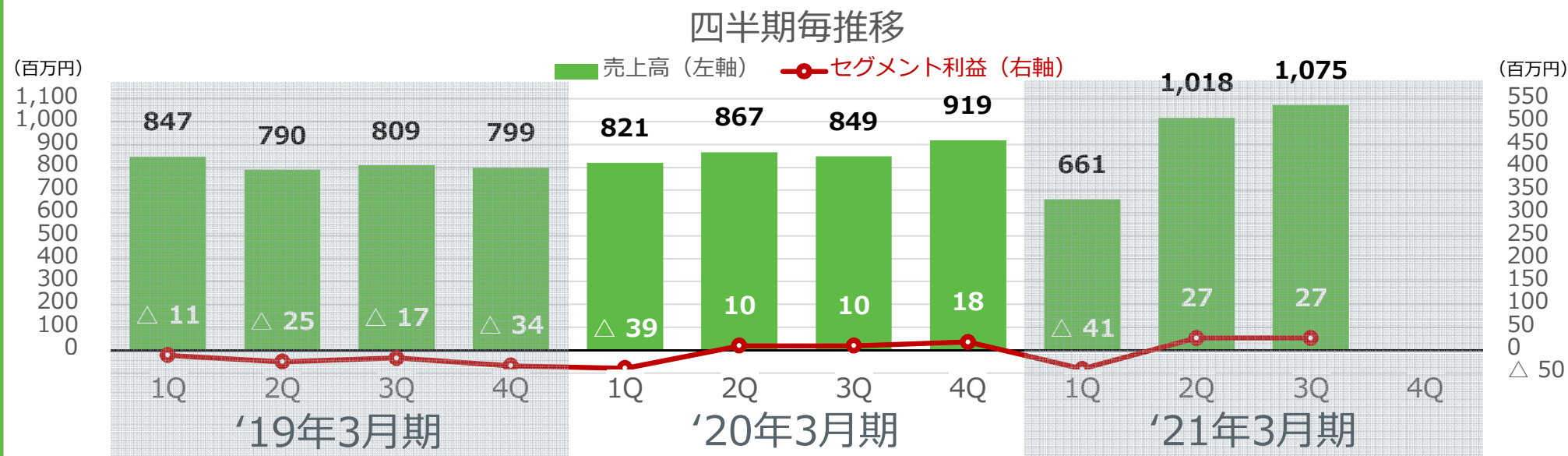
第3四半期の概要

- 緊急事態宣言下での外出自粛から生じた「巣ごもり消費」により、フィットネス機器の販売好調が継続。売上高は前年同期比31%増、利益率も改善
- アルミ製はしご・脚立などの販売もDIYニーズからホームセンターなどの量販店向けが好調
- 機械・工具などの販売ルートも停滞を脱して回復傾向

通期予想の前提

- 下期はフィットネス事業部の好調が継続する見込み
- アルミ製はしご・脚立などの販売は第2四半期までの状況が継続する見通し



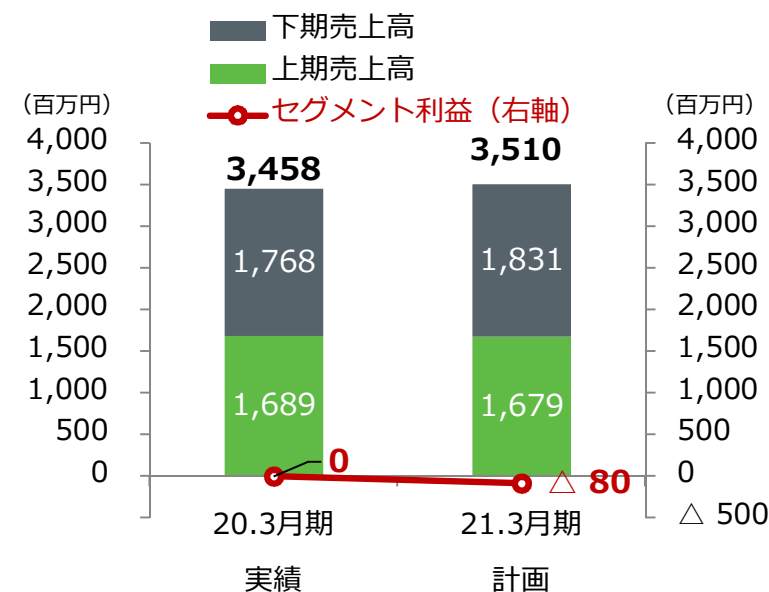


第3四半期の概要

- 防災行政無線は、第2四半期から納入が本格化し、前年同期比大幅増
通期でもコロナ禍の影響小さく業績に寄与する見込み
- 建設機械への搭載採用を進める無線モジュールは、採用顧客の拡大が販売に繋がり売上拡大

通期予想の前提

- 主力の特定小電力無線のほか業務用無線は企業収益の減少による投資縮小の影響が継続しているものの、防災無線や無線モジュールが寄与して黒字化も視野に



2021.3月期（第51期）第3四半期 連結BS

ALINCO

(単位：百万円)

	2020.3月期	2021.3月期 3Q	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期末比 増減額 (増減率)
流動資産	33,356 (61.4%)	32,908 (60.4%)	△448 (△1.3%)
固定資産	20,994 (38.6%)	21,575 (39.6%)	+580 (+2.8%)
資産合計	54,351 (100.0%)	54,483 (100.0%)	+132 (+0.2%)
流動負債	16,757 (30.8%)	16,015 (29.4%)	△742 (△4.4%)
固定負債	10,169 (18.7%)	11,995 (22.0%)	+1,826 (+18.0%)
負債合計	26,927 (49.5%)	28,011 (51.4%)	1,084 (+4.0%)
純資産	27,424 (50.5%)	26,471 (48.6%)	△952 (△3.5%)
負債・純資産合計	54,351 (100.0%)	54,483 (100.0%)	+132 (+0.2%)
自己資本比率	48.7%	48.4%	△0.3ポイント
D/Eレシオ	55.9%	63.2%	+7.3ポイント

主な増減要因 (百万円)

流動資産

現・預金の減少	△357
売上債権回収による減少	△150
将来の需要増に備えた計画生産によるたな卸資産増	+226

固定資産

福知山物流センター着工による建設仮勘定や土地の増加	+612
---------------------------	------

負債

売上高ならびに生産高減少による仕入債務の減少	△648
長・短借入金増	+1,893

純資産

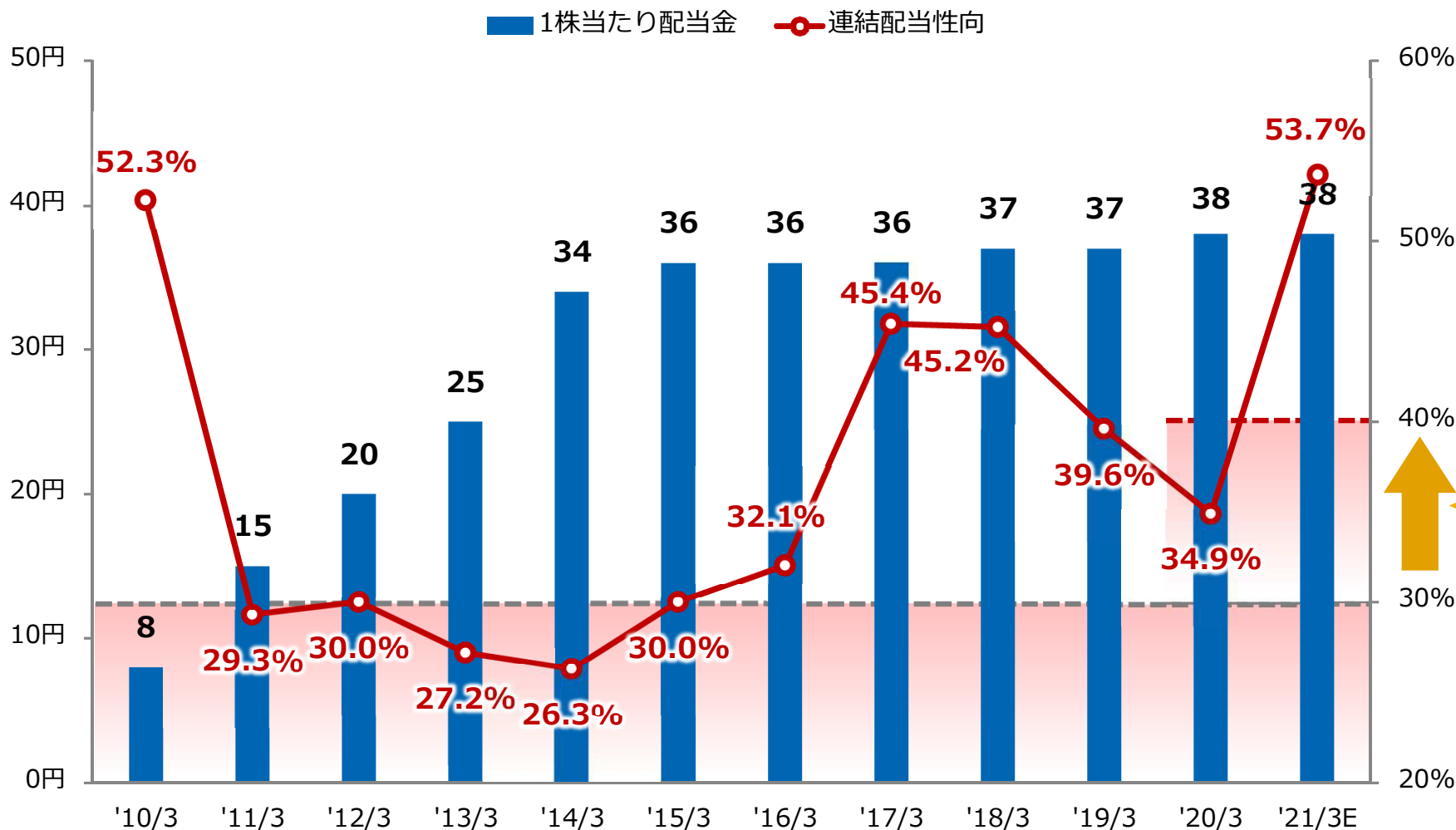
四半期純利益	+1,363
配当金支払	△743
自己株式取得	△472
双福鋼器(株)完全子会社化による非支配持分の減少	△883

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

株主還元

安定的な配当を基本方針とし、連結配当性向40%を目標とする 利益成長に応じた配当を実施

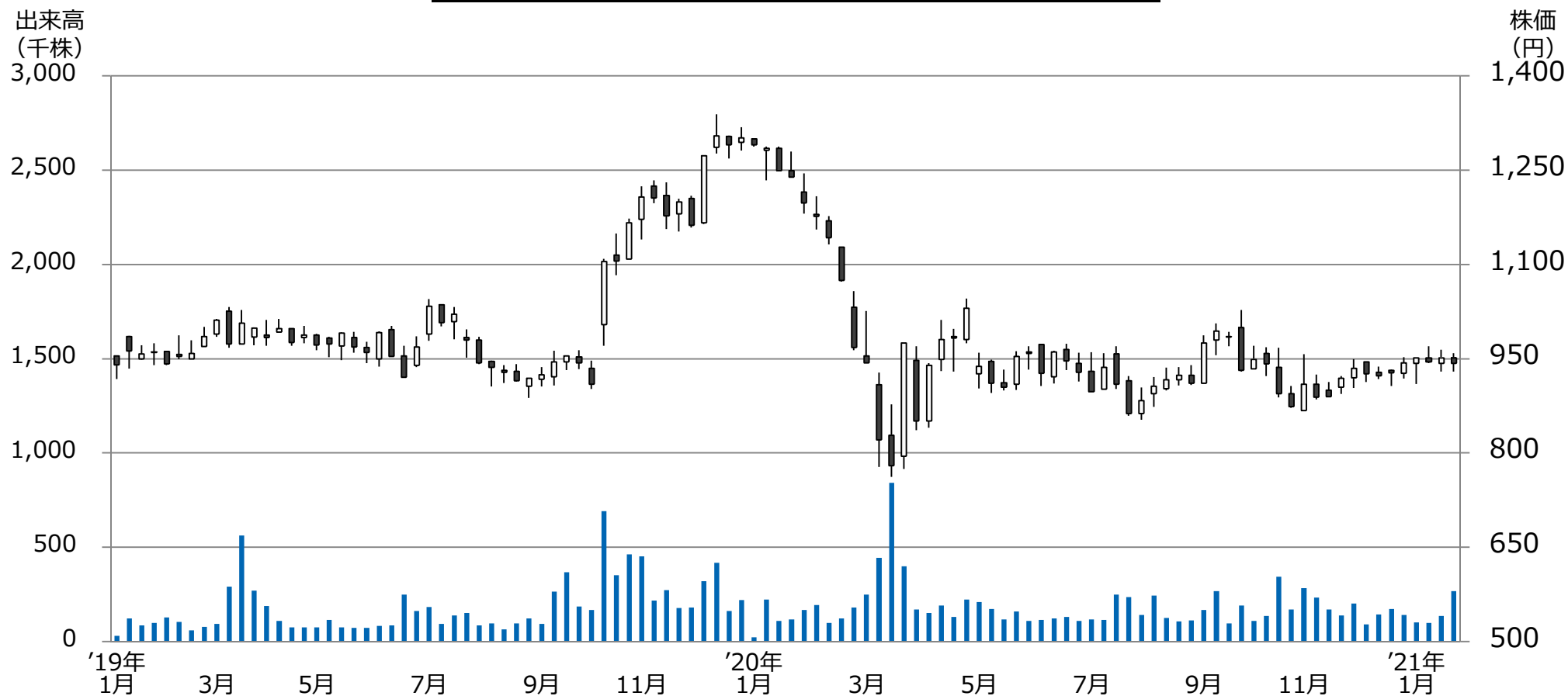
配当金と連結配当性向の推移



※ 2015/3には東証1部指定記念配当2円を含む

2020年3月期より
連結配当性向の
目標を引き上げ

終値 **943円** (2021年1月29日現在)



配当利回り (実績)

4.0%

純資産倍率 (PBR)

0.70倍

株価収益率 (PER)

13.5倍

3月20日現在の株主様に対し、
下記金額の商品券をお送りしています。

	3年未満 保有	3年以上 継続保有
500株以上 所有の株主様	1,000円分	2,000円分
1,000株以上 所有の株主様	2,000円分	3,000円分
5,000株以上 所有の株主様	4,000円分	5,000円分
10,000株以上 所有の株主様	6,000円分	8,000円分

- ・3年以上継続保有とは、半期ベースで連続7回以上株主名簿に記載された場合をいいます。
- ・上記の商品券は「VJAギフトカード」となります。

「社会に貢献」「会社の発展」「社員の成長」の経営理念に基づき、 社会のよりよい発展に貢献できる企業グループを目指す

環境 (Environment)

- 工場における自然換気・自然採光の導入、照明のLED化による省エネルギーの推進

社会 (Social)

建設現場における安全・安心の追求

- 建設現場の安全、利便性、作業効率の向上を考慮した「ものづくり」
- 法改正に迅速に対応した安全機材の開発・提供
- お客様の声を反映した性能・品質の向上

各種スポーツへの協賛

- スポーツへの協賛による青少年の心身の健全な育成を支援

災害復興支援

- 宮城県気仙沼市と「企業版ふるさと納税」協定を締結

ガバナンス (Governance)

- 2016年より「監査等委員会設置会社」へ移行
- 2017年より「取締役会の実効性評価」を実施
- 2019年より「譲渡制限付株式報酬制度」を導入



全日本少年硬式野球連盟（ヤングリーグ）への特別協賛



大阪市長杯ミニバスケットボール大会への特別協賛



ガンバシスト（ガンバ大阪の社会貢献事業）に協賛



公益財団法人 全日本空手道連盟への協賛



高槻シティハーフマラソンへの協賛

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、
今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、
この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社・経理部

大阪府中央区高麗橋4-4-9淀屋橋ダイビル

Tel:06-7636-2220・Fax:06-6208-3701